令和元年度
野鳥モニターによる
足立区野鳥調査報告書

足立区

足立区　環境部　環境政策課

【表紙写真：カルガモ】提供：野鳥モニター　鈴木　操 氏

令和２年５月ベルモント公園にて撮影

足立区では、平成４年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

令和元年度は、４０人の野鳥モニターが区内４０地域で調査を行い、７３種、延べ２４，５９６羽の野鳥を確認しました。

今年度は、新型コロナウィルス感染拡大の影響により３月分の調査が中止となりました。そのため、昨年と比べると大きく数が減少しております。また、５月から１月までの調査数で見ても、減少傾向にあることが分かります。

区は、一定の方法で調査を長く続けていくことで、野鳥を通して自然環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの自然環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと思っています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

令和２年10月　足立区環境部環境政策課

～ 目 次 ～

Ⅰ　調査概要 …… 1

Ⅱ　調査結果

1　年間確認種数と個体数 …… 4

2　区内で繁殖行動が確認された野鳥 …… 6

3　調査開始以来、初めて確認された野鳥 …… 7

4　調査月別確認種数と確認個体数 …… 8

5　確認個体数ベスト 10 及び経年変化 …… 9

Ⅲ　令和元年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録 …… 14

資料編

資料１　令和元年度野鳥モニター名簿・担当地域 …… 48

資料２　調査月別確認種と個体数 …… 50

資料３　ブロック別確認種と個体数 …… 52

資料４～８　各調査月に確認された野鳥 …… 54

資料９　年度別確認種及び個体数一覧 …… 59

資料１０　令和元年度野鳥モニター活動記録 …… 62

Ⅰ 調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。
調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

2 調査期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日
※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、3月の調査は中止

3 調査方法

（１）調査方法

調査地域をゆっくりと歩き（時速2km程度)ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

（２）調査人数

野鳥モニター40名による。

（３）調査項目

野外で観察されたすべての野鳥（外来種含む）の種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

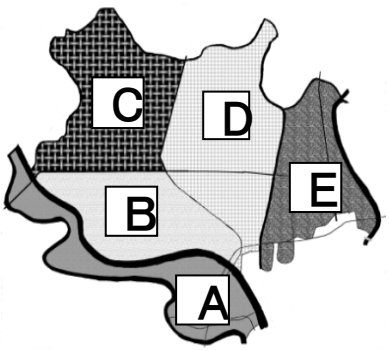
（４）調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から午前10時までの間の2時間程度（調査回数は各地域とも年6回）。
※新型コロナウィルス感染拡大防止のため3月の調査を中止したため、今年度の調査回数は5回

４　調査地域

区内で野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定している。

ブロック	番号	地域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】
Ａブロック　　9地域
Ｂブロック　　8地域
Ｃブロック　　5地域
Ｄブロック　　8地域
Ｅブロック　10地域

ブロック	番号	地域
C	18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
	20	舎人公園
	21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D	23	梅島一～三丁目
	24	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
	25	島根全域
	26	西綾瀬全域
	27	西保木間一～三丁目
	28	花畑三～五丁目
	29	保木間一～三丁目
	30	保木間四～五丁目
E	31	大谷田一丁目
	32	大谷田二（中川含む）～五丁目
	33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（垳川、中川含む）
	37	神明南一・二丁目、北加平町
	38	東和全域・谷中公園
	39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	40	東綾瀬公園

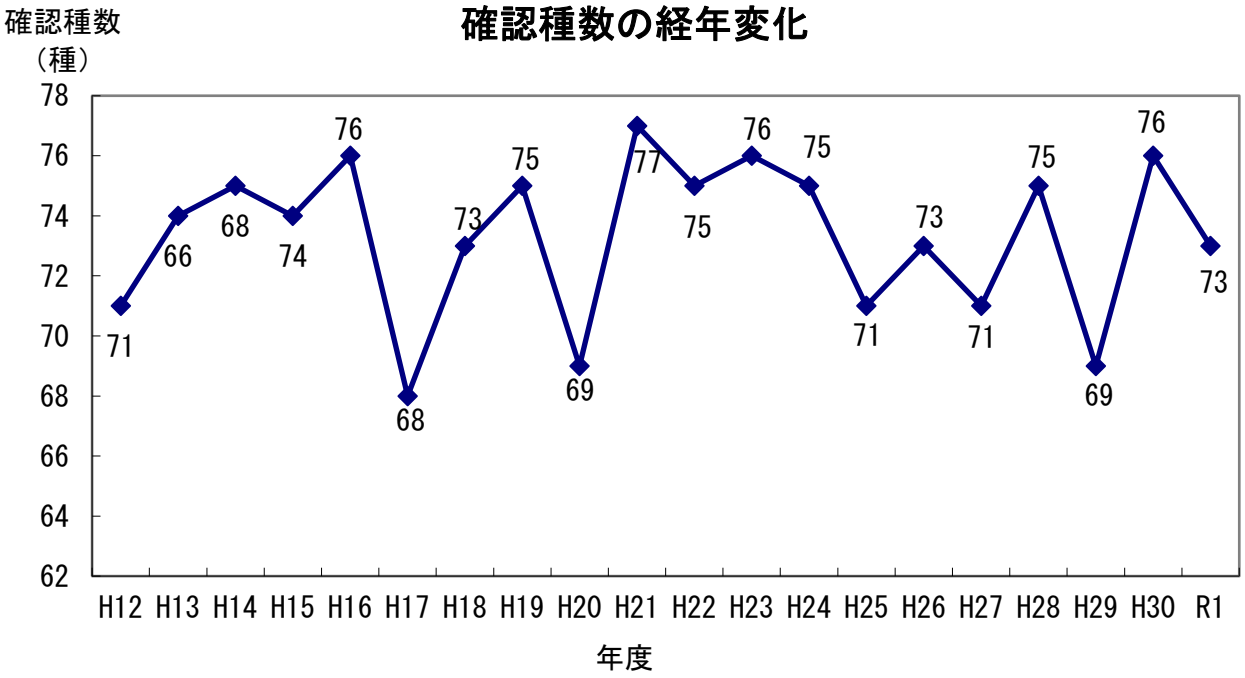
令和元年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～令和元年度）》

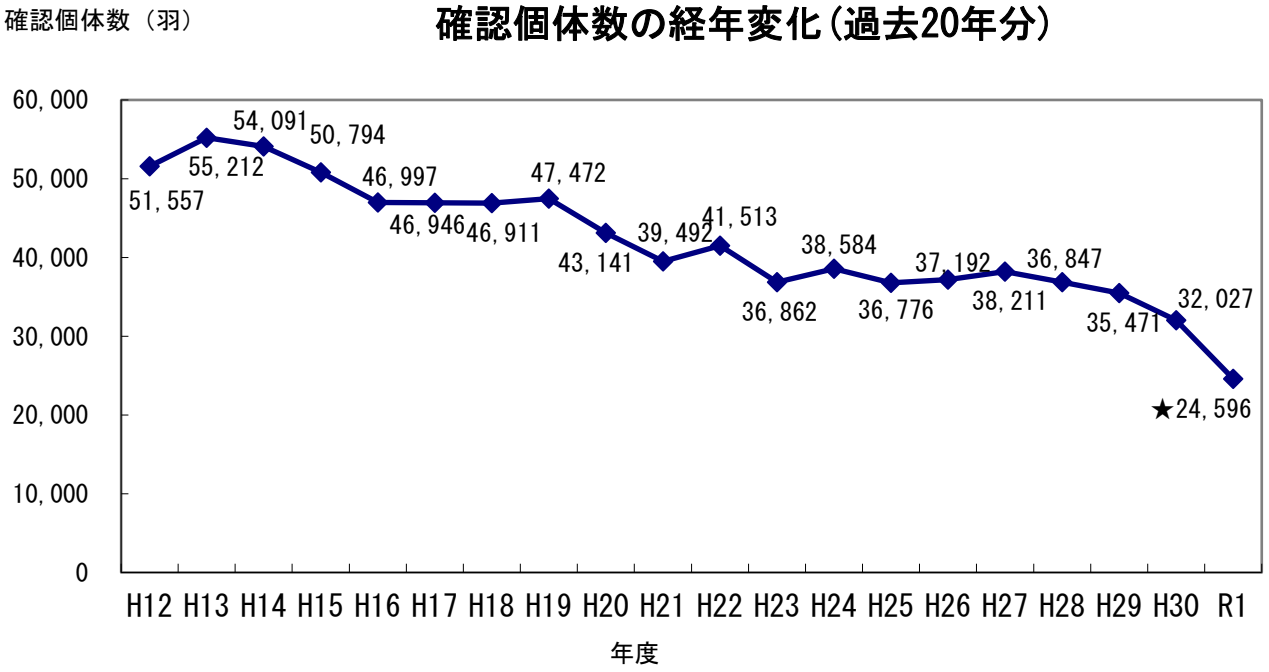
年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40

Ⅱ　調査結果

1　年間確認種数と個体数

令和元年度の調査で確認された野鳥は、73種、延べ24,596羽であった。





★新型コロナウィルス感染拡大防止のため3月の調査が中止となったため、例年より大幅に数が減少。3月にH30年度と同等の個体数が確認されたとしても、1,000羽程少なくなり、減少傾向にあることが分かる。

NO	目名	科名	種名	合計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	1
2			ヒドリガモ	529
3			マガモ	36
4			カルガモ	666
5			ハシビロガモ	8
6			オナガガモ	85
7			コガモ	112
8			ホシハジロ	176
9			キンクロハジロ	175
10			スズガモ	7
11	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	24
12			カンムリカイツブリ	18
13			ハジロカイツブリ	1
14	ハト	ハト	キジバト	569
15	カツオドリ	ウ	カワウ	413
16	ペリカン	サギ	ゴイサギ	6
17			アオサギ	69
18			ダイサギ	38
19			コサギ	23
20	ツル	クイナ	クイナ	1
21			バン	43
22			オオバン	450
23	チドリ	チドリ	イカルチドリ	1
24			コチドリ	13
25		シギ	タシギ	1
26			クサシギ	1
27			イソシギ	46
28		カモメ	ユリカモメ	806
29			ウミネコ	67
30			カモメ	5
31			セグロカモメ	31
32			オオセグロカモメ	4
33			コアジサシ	5
34	タカ	タカ	トビ	3
35			ツミ	8
36			オオタカ	2
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	12
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	7
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	14
40	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	2
41		モズ	モズ	46
42	スズメ	カラス	オナガ	951
43			ハシボソガラス	696
44			ハシブトガラス	849
45		シジュウカラ	ヒガラ	1
46			シジュウカラ	423
47		ヒバリ	ヒバリ	10
48		ツバメ	ツバメ	428
49			イワツバメ	6
50		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,061
51		ウグイス	ウグイス	22
52		エナガ	エナガ	6
53		メジロ	メジロ	310
54		ヨシキリ	オオヨシキリ	27
55		セッカ	セッカ	14
56		ムクドリ	ムクドリ	5,625
57			コムクドリ	1
58		ヒタキ	シロハラ	3
59			ツグミ	180
60			ジョウビタキ	17
61			イソヒヨドリ	5
62			キビタキ	2
63		スズメ	スズメ	7,697
64		セキレイ	キセキレイ	1
65			ハクセキレイ	344
66			セグロセキレイ	1
67			ビンズイ	2
68			タヒバリ	9
69		アトリ	カワラヒワ	245
70			シメ	8
71		ホオジロ	ホオジロ	7
72			アオジ	18
73			オオジュリン	35
種名特定できず			カモＳＰ	24
			サギＳＰ	2
			シギＳＰ	4
			カモメＳＰ	4
			カラスＳＰ	30
			ホオジロＳＰ	4
確認種個体数合計（羽）				24,596

※ＳＰ…種名まで特定できなかったもの

参考	ワカケホンセイインコ	29
	ドバト	2,594

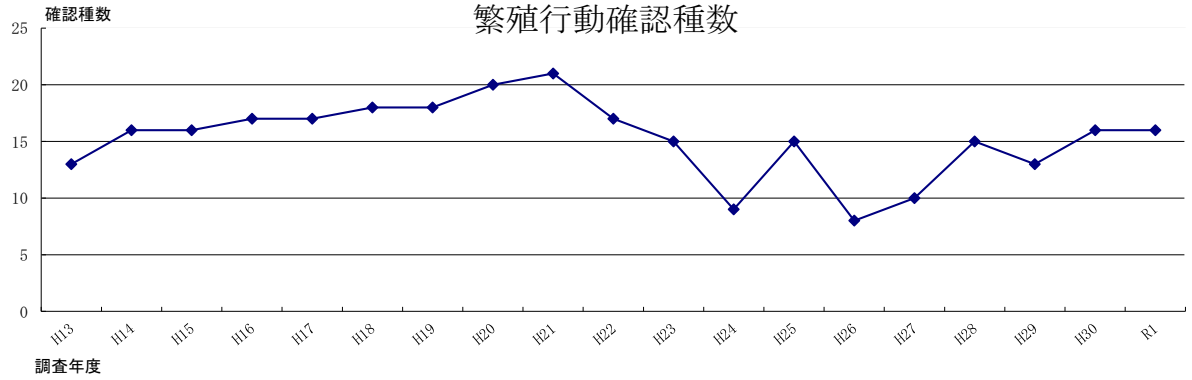
２　区内で繁殖行動が確認された野鳥

令和元年度に営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、16種であった。

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
1	アオサギ		○																○	○
2	イソシギ	○								○										
3	イワツバメ					○	○	○	○	○	○									
4	ウグイス			○																
5	オオヨシキリ	○		○	○		○	○	○	○				○						○
6	オナガ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	カイツブリ									○						○		○	○	○★
8	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
9	カワセミ										○								○	
10	カワラヒワ		○		○	○			○	○		●					●		○	○
11	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
12	コアジサシ				○		○							○			○			
13	ゴイサギ	○	○	○		○		○	○	○	○	●					●			
14	コゲラ			○					○			●								
15	コサギ		○			○				○	○									
16	コチドリ				○			○			○	○						○	○	○
17	ササゴイ					○	○	○		○										
18	シジュウカラ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○
19	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	セッカ	○																		
21	チョウゲンボウ				○		○		○											
22	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	ツミ													○			○	○	○	○
24	ハクセキレイ	○	○	○	○		○	○	○	○				○			●			
25	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○★
26	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
27	バン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		●		○★	○★
28	ヒバリ					○			○		○			○						
29	ヒメアマツバメ						○	○												
30	ヒヨドリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					
31	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	メジロ								○	○										
33	モズ																	○	○	
	年度合計	13	16	16	17	17	18	18	20	21	17	15	9	15	8	10	15	13	16	16

※「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの
※平成26年度までは調査日に限り確認された種を計上（調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと考えられる）
　平成27年度報告書からは調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載
※種名の網掛けは令和元年度に繁殖行動が確認された種
※●＝幼鳥のみ
※H13年～15年に計上されていたコムクドリは、H26年報告書から削除
※H28年に計上されていたアイガモ・チュウシャクシギは、H29年報告書から削除
※★＝ヒアリング調査によるため、観察記録に記載なし。



３　調査開始以来、初めて確認された野鳥

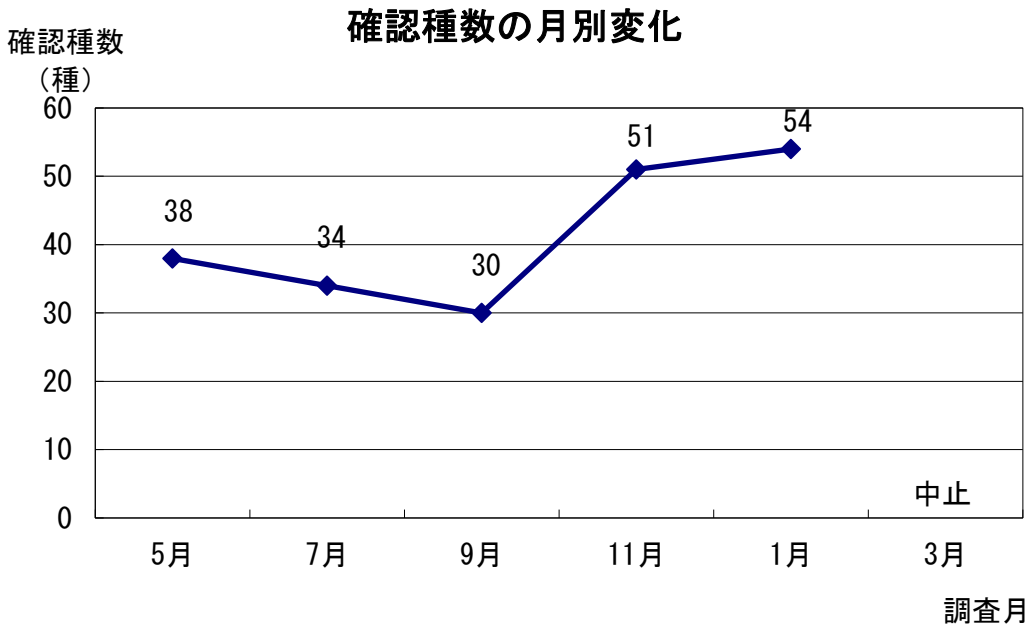
◎サンショウクイ（スズメ目サンショウクイ科）

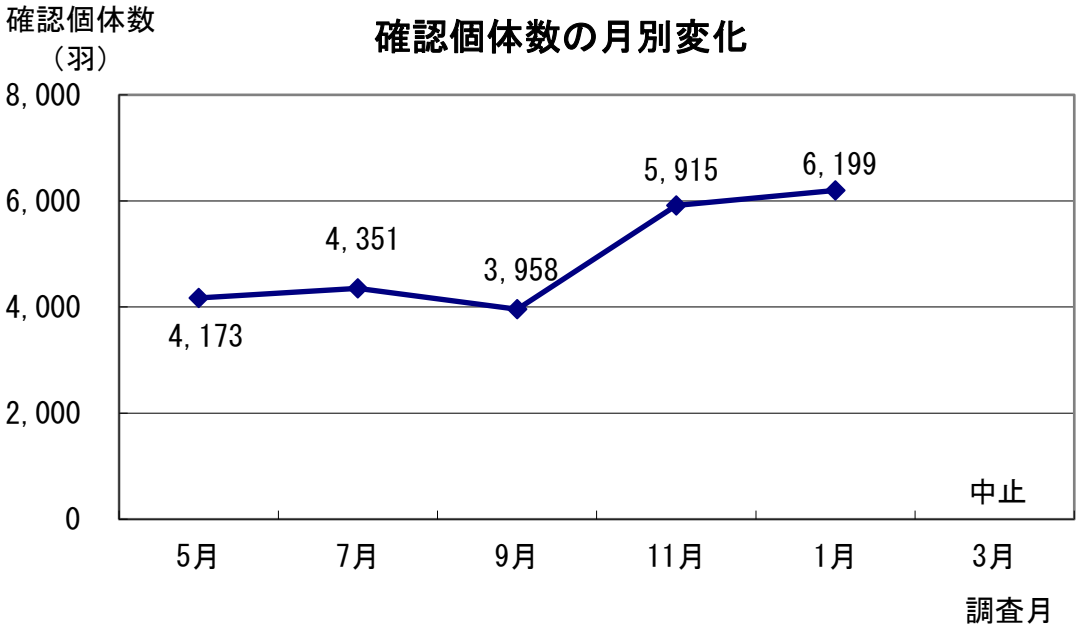
確認月：令和元年5月
地域：Ｃブロック
区分：他

夏鳥または留鳥として本州、四国、九州、南西諸島の丘陵地から山地の林に渡来、生息する。

（文章引用：決定版日本の野鳥650　(株)平凡社）

４　調査月別確認種数と確認個体数





５　確認個体数ベスト10及び経年変化

（１）調査月別　確認個体数ベスト10

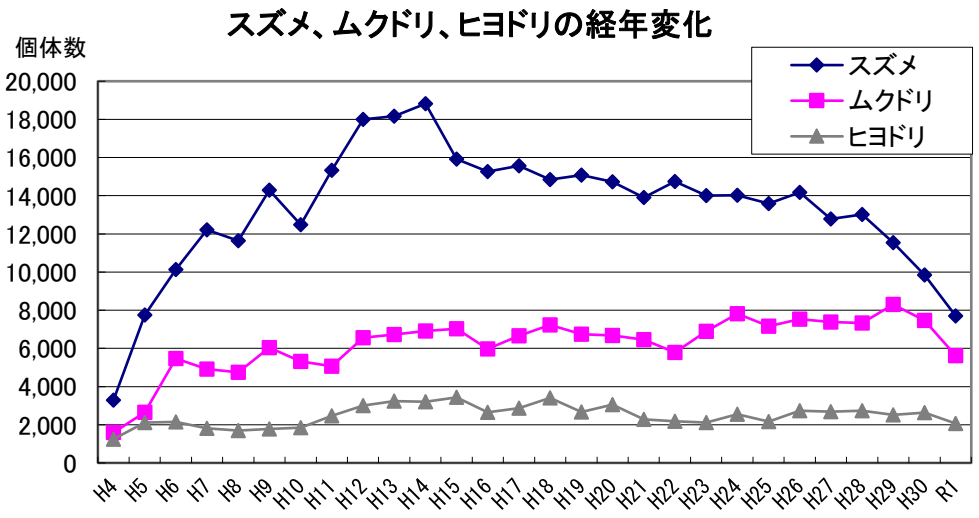
順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月	年間
1	スズメ 1,428	スズメ 1,558	スズメ 1,535	スズメ 1,512	スズメ 1,664		スズメ 7,697
2	ムクドリ 1,310	ムクドリ 1,361	ムクドリ 1,313	ヒヨドリ 1,201	ムクドリ 812		ムクドリ 5,625
3	オナガ 222	オナガ 245	オナガ 199	ムクドリ 829	ヒヨドリ 505		ヒヨドリ 2,061
4	ツバメ 172	ツバメ 245	ハシブトガラス 169	ユリカモメ 338	ユリカモメ 452		オナガ 951
5	ハシブトガラス 168	ハシブトガラス 169	ヒヨドリ 154	カルガモ 181	ヒドリガモ 446		ハシブトガラス 849
6	ハシボソガラス 142	カルガモ 131	ハシボソガラス 128	オオバン 177	オオバン 270		ユリカモメ 806
7	キジバト 133	ハシボソガラス 122	カルガモ 116	オナガ 174	カワウ 182		ハシボソガラス 696
8	ヒヨドリ 119	キジバト 115	キジバト 104	ハシブトガラス 170	メジロ 176		カルガモ 666
9	カルガモ 108	ヒヨドリ 82	シジュウカラ 49	ハシボソガラス 161	ハシブトガラス 173		キジバト 569
10	シジュウカラ 91	シジュウカラ 59	カワウ 36	メジロ 130	キジバト 148		ヒドリガモ 529

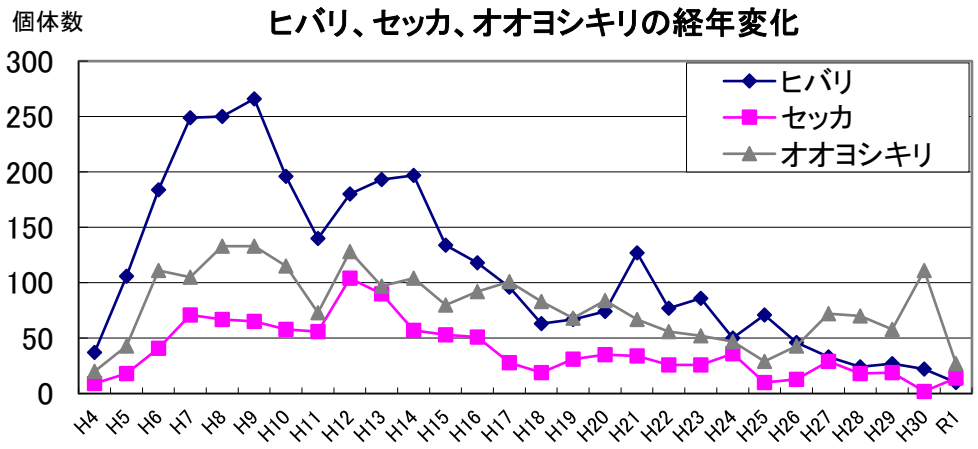
（２）年間の確認個体数ベスト10の経年変化

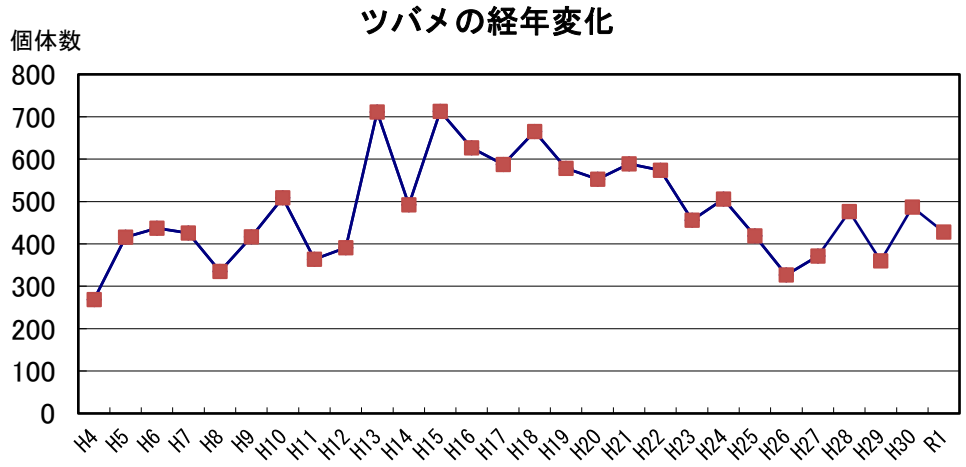
調査を開始した平成4年度から、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。
令和元年度の年間確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、
20,449羽で、全体の約83％に相当する。

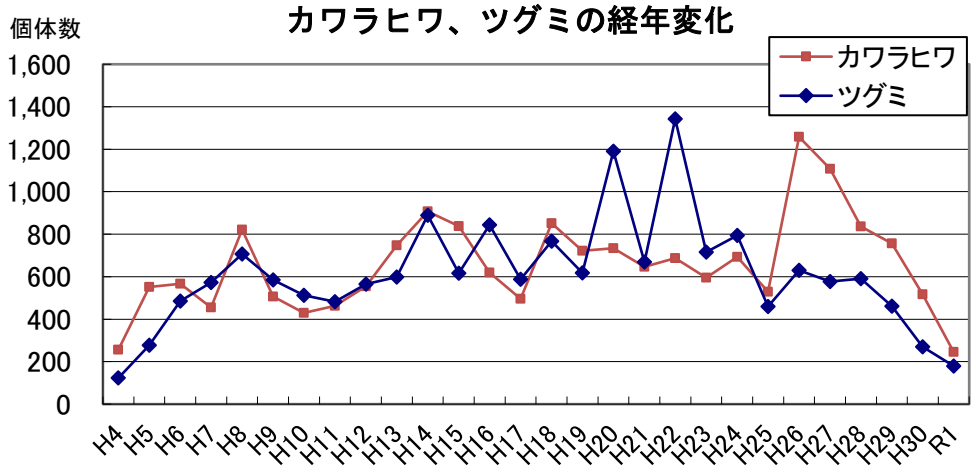
順位	種名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度
1	スズメ	12,779	13,013	11,545	9,853	7,697
2	ムクドリ	7,382	7,332	8,301	7,460	5,625
3	ヒヨドリ	2,689	2,734	2,512	2,640	2,061
4	オナガ	1,184	1,097	1,197	1,274	951
5	ハシブトガラス	1,588	1,825	1,859	1,168	849
6	ユリカモメ	644	798	893	897	806
7	ハシボソガラス	975	946	893	879	696
8	カルガモ	852	563	707	803	666
9	キジバト	739	710	638	746	569
10	ヒドリガモ	875	923	593	698	529
合計		29,707	29,941	29,138	26,418	20,449

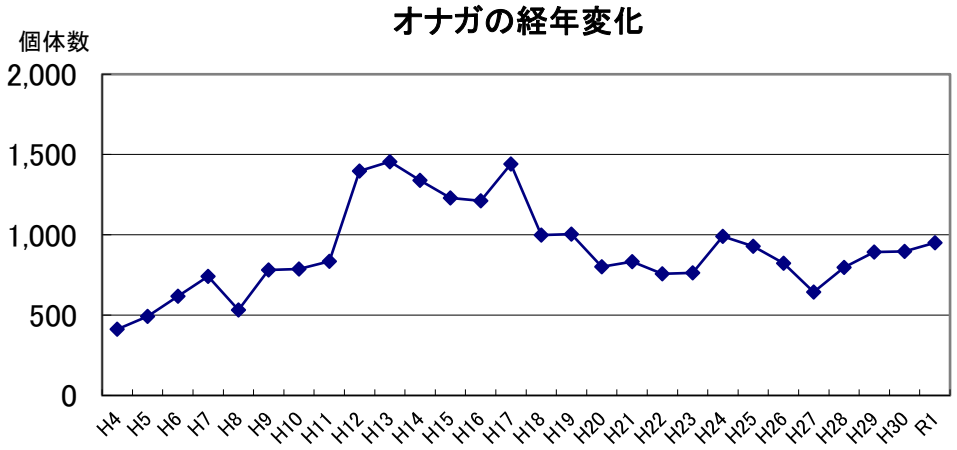
（３）主な種の経年変化

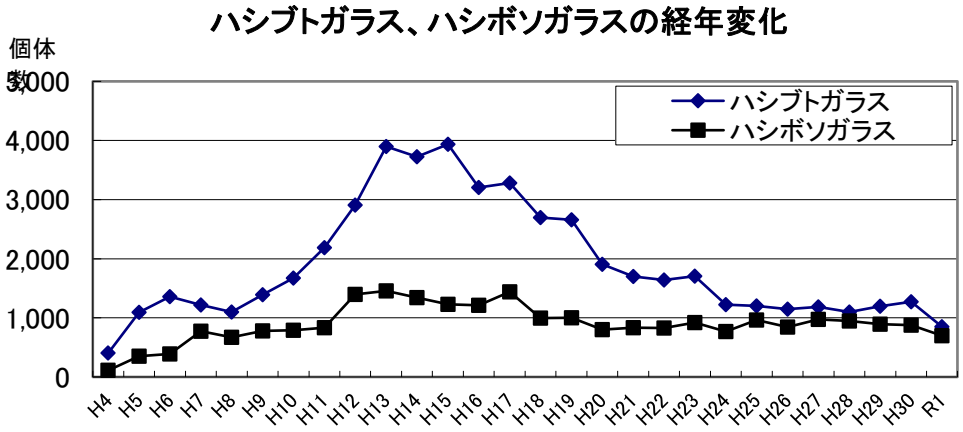

スズメ、ムクドリ、ヒヨドリの経年変化
個体数
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
スズメ
ムクドリ
ヒヨドリ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

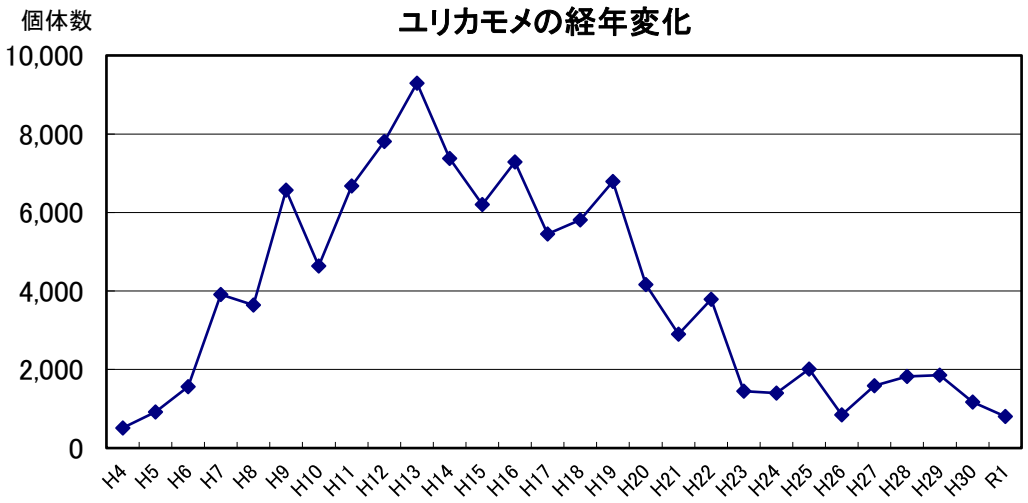

ヒバリ、セッカ、オオヨシキリの経年変化
個体数
300
250
200
150
100
50
0
ヒバリ
セッカ
オオヨシキリ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

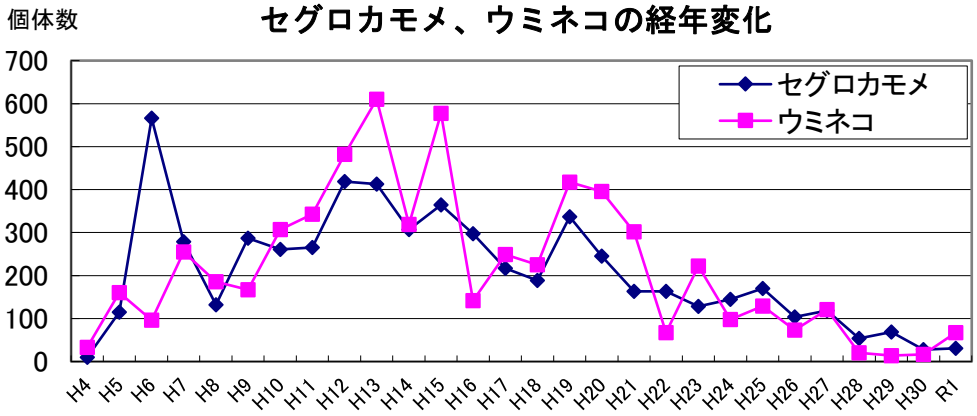

ツバメの経年変化
個体数
800
700
600
500
400
300
200
100
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

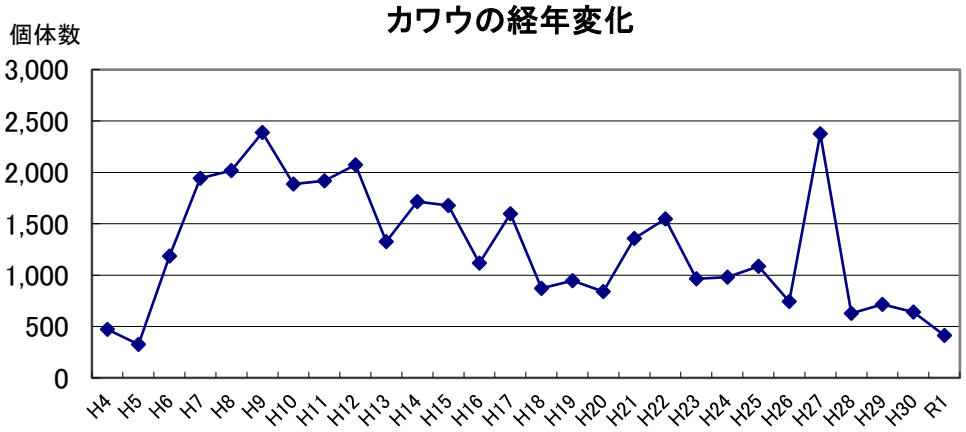

カワラヒワ、ツグミの経年変化
個体数
1,600
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
カワラヒワ
ツグミ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

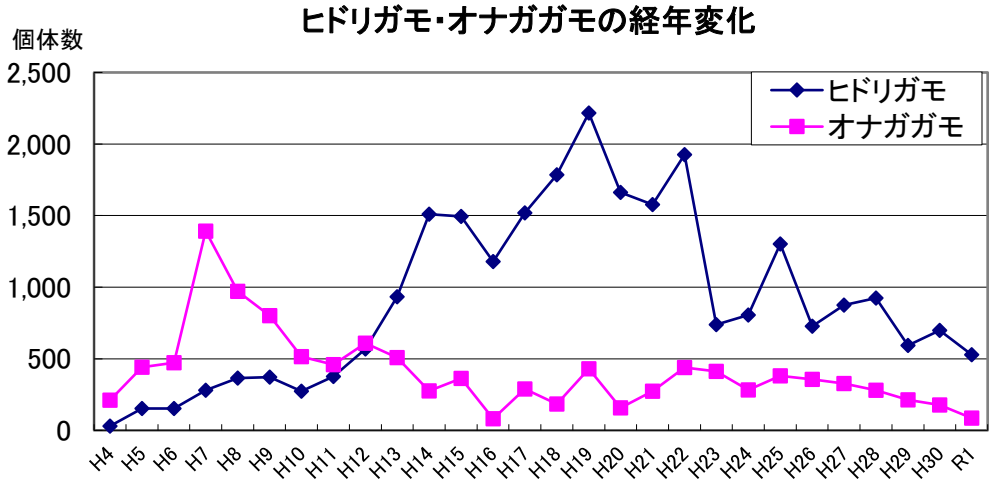

オナガの経年変化
個体数
2,000
1,500
1,000
500
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

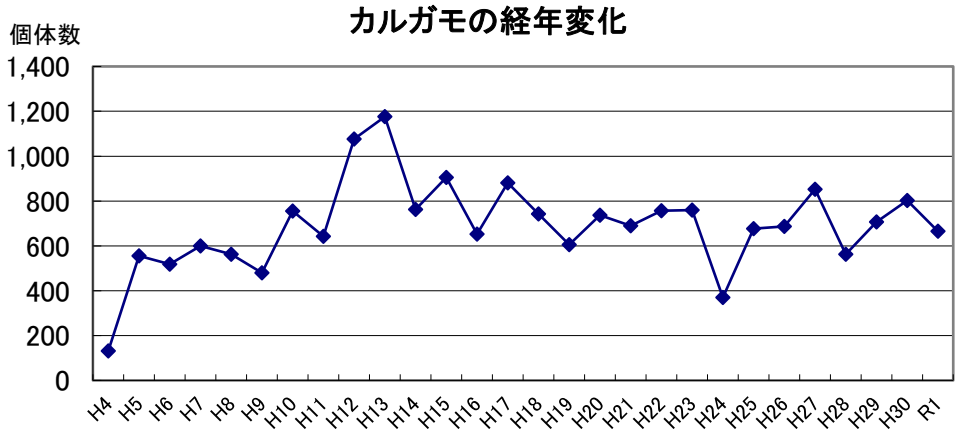

ハシブトガラス、ハシボソガラスの経年変化
個体数
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
ハシブトガラス
ハシボソガラス
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

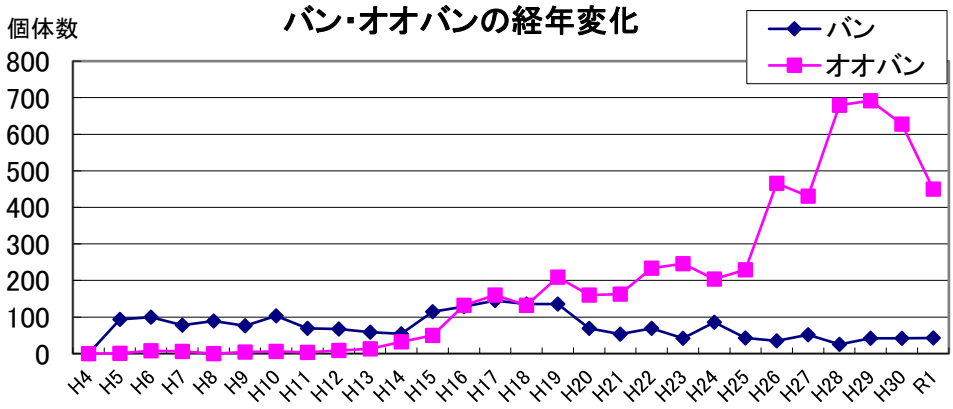

ユリカモメの経年変化
個体数
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1


セグロカモメ、ウミネコの経年変化
個体数
700
600
500
400
300
200
100
0
セグロカモメ
ウミネコ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1


カワウの経年変化
個体数
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1


ヒドリガモ･オナガガモの経年変化
個体数
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
ヒドリガモ
オナガガモ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1


カルガモの経年変化
個体数
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1


バン･オオバンの経年変化
個体数
800
700
600
500
400
300
200
100
0
バン
オオバン
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

Ⅲ
令和元年度
野鳥モニターによる
観察・繁殖行動記録

目次

平成３１年４月繁殖行動確認 …… 15
令和元年５月観察記録 …… 16
令和元年５月繁殖行動確認 …… 22
令和元年６月繁殖行動確認 …… 25
令和元年７月観察記録 …… 26
令和元年７月繁殖行動確認 …… 30
令和元年９月観察記録 …… 32
令和元年１０月観察記録 …… 36
令和元年１１月観察記録 …… 37
令和２年１月観察記録 …… 42

平成31年4月(繁殖行動確認)

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
アオサギ	荒川右岸鹿浜橋下流の池	9	・4/9抱卵する姿を確認。 ・4/21巣に鳥はいず、カラスにおそわれたらしい。	Aブロック
	舎人公園		・営巣を確認した。	Dブロック
ハシボソガラス	宮城一丁目の通路上	15	・2羽が小枝をくわえて飛んでいった。	Aブロック
ムクドリ	東和二丁目	23	・巣材（枯草）を咥えて、戸袋の中へ入っていった。	Eブロック

令和元年5月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
2	コガモ	・西新井橋横の野球場の水たまりに、カモの足跡が残っていた。小型のため、コガモのものと考えられる。夜間等に上陸して、採餌したときのものと思われる。	Ｂブロック
3		・江南公園のケヤキの幹に「カラスの巣、注意！産卵後、区で対応します。刺激したりさわいだりしないでください」とあった。	Ａブロック
4	オナガ ドバト	・公園を中心に、オナガがたくさんいた。カラスが減っているせいか、ドバトが目立っていた。 ・ナガミヒナゲシなど春の野草が多くあった。	Ｅブロック
4	コアジサシ ツバメ スズメ ムクドリ	・今年もコアジサシ、ツバメが帰ってきました。 ・ツバメは泥を採取して巣作りです。スズメも、ムクドリも巣材をはこんでいます。 ・又新しい命が誕生する季節になりました。	Ｅブロック
4	コガモ カワラヒワ クイナ サンショウクイ	・舎人緑道公園の工事が5月7日から開始されるため、4日を調査日としました。 ・毛長川の浚渫（しゅんせつ）工事は終了しましたが、尾久橋通りから下流で水辺の野鳥は観察できませんでした。 ・コガモは渡りの時期であるが、残っていた2羽を観察できました。 ・毛長川の河川敷にある菜の花は種が多くあり、草の実を食べるカワラヒワを12羽観察できました。 ・1月と3月に観察したクイナは、今回の観察でも境川部屋の近くで観察出来ました。 ・舎人氷川神社の境内で変わった鳴き声があり、木の上にいるサンショウクイを観察しました。	Ｃブロック
5	オナガ	・鳥数も少なく、オナガだけが元気です。	Ｅブロック
6	スズメ ツバメ	・令和初の野鳥観察地域に出発。途中野鳥のさえずりは多い。 ・午前6時、調査を開始する。大型連休最後の日、あるいは小雨のせいかなかなか鳥の姿は見えない。神明南公園でスズメ6羽を確認した。午前6時30分、雪見公園で柴犬を連れた女性と挨拶を交す。以前、ワカケホンセイインコの教示をしていただいた方でした。花畑川には水鳥の姿なし。 ・午前6時55分、神明南ふれあい公園では多くの方がラジオ体操をしていた。鳥の姿なし。 ・午前7時5分、神明南1丁目の店舗軒下にツバメの巣が2つある。同店の方に挨拶をして観察をすると、1つの巣にツバメの成鳥1羽を確認。もう1つの巣の下のたたきには糞が落ちている。よって、2つを営巣とした。同丁目個人宅駐車場にもツバメの巣がある。ここでもツバメの成鳥1羽を確認した。 ・午前7時20分、北加平町の送電線塔（花総線№2）最上部の足場にカラスの巣と思われるものがある。鳥の姿はない。午前8時、すでに雨も上がり調査終了。	Ｅブロック
6	ツバメ カルガモ	・曇、小雨がぱらつく。ツバメが地表すれすれを飛び交う。 ・カルガモのカップルがグラウンドの真ん中でくつろいでいたのが印象的だった。 ・種類も個体数も少なかった。	Ｂブロック

令和元年5月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
6	ムクドリ ハシブトガラス	・9階建てのマンションのキッチン排気口3カ所にムクドリが営巣しているのを見つけた。それぞれ、親鳥が入ると同時に騒がしいヒナの声が地上からも聞こえる。住んでいる人は気が付かないはずはないと思うのだが…。 ・この時期になっても相手が決まらないのか、ハシブトガラスの数羽の群舞が続いている。あるいは若鳥たちかも。	Ａブロック
7	オオヨシキリ ツバメ イワツバメ ツグミ	・18種類観察した。 ・夏鳥のオオヨシキリ（初認5/4）、ツバメ（同4/2）、イワツバメ（同5/5）がやってきた。一方、冬鳥は、ツグミが1羽見られた。 ・草が伸び、枝が繁ってきたので、鳥の数が数えづらくなってきた。（後日、草刈の行われた土手の草地でムクドリやスズメが多く群れていた。）	Ａブロック
7		・シジュウカラのさえずりやヒヨドリの鳴き声が聞こえたが、高い木の上で新芽に覆われて姿を見つけられなかった。	Ｅブロック
8	チョウゲンボウ	・10連休も終わり河川敷のグラウンドも静かになるのを待っての調査でした。 ・チョウゲンボウが江北橋下流の河川敷で見事なホバリングを見せてくれた後に、かなりの高度を取って対岸の西の方へ飛び去りましたが、暫くした後に再度上空をみたら、又チョウゲンボウがホバリングしていました。別個体の様な気もしますが、同一個体と見なして観察数は1としました。	Ｂブロック
8	スズメ	・千住桜堤中学校グラウンド前のビルの空気孔？にスズメが出入りしていた。ヒナの鳴き声は聞こえず。	Ａブロック

令和元年5月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
11	ムクドリ ハシボソガラス ツミ アオサギ スズメ シジュウカラ ムクドリ カルガモ バン カイツブリ	・今朝の空は、五月晴れの穏やかな朝です。 ・舎人公園の新緑がまぶしい季節となり、園内を散歩する人の出足も早くなり、人数も多くなりました。桜の木には、赤く色付いたサクランボが沢山実っている木もあり、カラスやムクドリが食している姿を見ます。私も口にしてみましたが、渋く、この味では人は食べられません。 ・ハシボソガラスの親子に出会いました。親から餌をもらう雛が口を大きくあけると、真っ赤な口の中が見えます。行動がまだあどけなく、私が近づくと、親鳥は危険を知らせると思われる鳴声を出して雛に知らせています。 ・Ｃ地区のクスノキにツミが5月始頃から営巣しているとの情報を耳にしていましたので、その場所へ行くと（調査コース）巣の中でツミの姿を確認することが出来ました。 ・大池の東側アシの中にアオサギが3月頃から営巣を始めていましたが、5月初旬に雛となり、調査日（5月11日）2羽の雛を確認しました。又、カルガモのハイブリット（アイガモ）の雛が多く誕生しています。純粋と思われるカルガモの数を数えるのが難しく大変です。ハイブリットの成鳥は50羽前後生息していると思われます。 ・今月の調査で、スズメ、シジュウカラ、ムクドリ、カラス、カルガモ、バン、カイツブリなど、繁殖活動が活発に見られましたが、全体的には、種類、個体数ともに、目にするのは少数でした。	Ｃブロック
12		・河川敷でのオオヨシキリは未確認。毎年減少傾向にある。	Ｂブロック
12	オナガ ハシブトガラス	・オナガが、群れでハシブトガラスを追い払っていました。気の強い鳥で、自分の体の3倍はあろうカラスの方がタジタジで逃げていた。	Ｄブロック
12	ムクドリ ハシブトガラス オナガ	・咲き誇るバラが見ごろのベルモント公園の芝生を走るムクドリが可愛い。 ・反して、今迄にない、ハシブトガラスとの出会いが多い朝でした。又、杉の木立の間から舞い立つオナガの風景も楽しめました。	Ｄブロック
12		・天気は曇り、風は弱め。時々薄日が差し、初めは上着を着ていましたが、歩くうちに少し暑く感じるようになりました。 ・大谷田一丁目団地10号棟北の道路沿いのケヤキの樹上にハシブトガラスの巣（巣材は針金ハンガーや枝など）がありました。カラスは不在でヒナがいる気配もありませんでした。 ・一丁目21にある住宅の北の林でオナガとムクドリの声が聞こえましたが、姿は確認できませんでした。	Ｅブロック

令和元年5月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
15	ツバメ	・毎年、スズメ、ムクドリが営巣する古い空家がありました。前回調査のときはあったのですが、今朝空地になっていた。残念。 ・調査地域の道一本反対側のマンション入り口にツバメの幼鳥、頭ひとつ見えました。 ・今朝は、鳥が少なかった。拘置所脇水路、コミュニティセンター水路にも、カルガモの姿なし。 ・散歩中の人からよく声をかけられます。あだちの野鳥を差し上げますと喜ばれます。	Ｄブロック
17	ドバト シギＳＰ	・天気：快晴、南東の風1。 ・桑の実が赤くなって、中には黒く熟してきたのもある。枇杷の実も黄色くなっている。 ・ドバト69以上、他の地域、対岸、上流側ではオオヨシキリsongが聞こえるが、本地域では全然いなかった。 ・シギspはイソシギではなかった。大きさではキアシシギやコアオアシシギ、飛んだ時腰の白が目立ったので、コアオアシシギだったかもしれない。	Ａブロック
17	ムクドリ	・ツミの巣は確認できなかった。 ・野球試合中なのにムクドリは逃げる事もなく餌取りに夢中、子育てに必死なんだと思った。 ・道路をはさんだ倉庫の屋根のすき間にムクドリ2羽が公園から餌を運んで往復している。雛の声が親鳥が来る度にぎやか、巣は見えない。	Ｅブロック
18	ムクドリ	・全体的に鳥が少ないです。川も満潮で鳥がさっぱりいませんでした。町中を見ているときから野良猫を5匹も見ました。以前はこんなに見なかったように思います。 ・道路の角で猫に餌をやっているいる男性がいました。 ・河川敷に降りる階段にムクドリが群れていて、群れが去ったあとを見ると、猫の餌が置かれていました。	Ａブロック
18	ムクドリ ハシボソガラス シジュウカラ	・久し振りのモニター。新緑の爽やかな風の中を出発。 ・少し前までは、ムクドリの声がやかましかったが、最近は少し静かになった。子育てに忙しいのかも知れない。 ・声が頼りにならないので、かなり注意して姿を探したが、普段より見つけにくかった。途中木の枝の茂みの中で、メジロの声を聞いたような気がしたが、姿は見つけられなかった。 ・ハシボソガラスのペアが目立った。初めに見たシジュウカラの雄雌もつがいだったかもしれない。	Ｅブロック
19	オナガ スズメ ムクドリ	・オナガが多く観察され、静かな朝に鳴き声が響いていた。 ・数ヵ所の家の屋根下で、スズメとムクドリのひなの鳴き声がした。	Ｂブロック
19	ハシボソガラス	・つがいのハシボソガラスが縄張りのためか、しきりに後をついてきて困った。木の上から葉をちぎって私に落としてきた。もちろん大きく鳴きながら。 ・いつも群れている場所からカルガモが一斉に消えていた。どこかで子育て中なのだろう。引越しに遭遇できるか。	Ｃブロック

令和元年5月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
19	ツバメ	・野鳥の数は少なかったです。繁殖に忙しいのでしょう。 ・少なくなった畑に路地もののジャガイモの花が満開で、懐かしさが感じられました。 ・ツバメの繁殖行動を見て感激でした。	Dブロック
19	オナガ	・繁殖確認できる時期だが、個体数自体あまり確認できず。 ・「オナガ」は、幼鳥かな？程度で、はっきり見分けがつきませんでした。	Dブロック
19		・野鳥たちは繁殖期で、調査成果は、種数、個体数ともさびしい結果でした。	Dブロック
20	スズメ ムクドリ	・そよ風が心地よく感じました。 ・スズメ、特にムクドリは多くいました。広い草原にムクドリ達は虫をさがして嘴にくわえてすばやく飛んで行きました。特大の虫をくわえて飛び立った一羽のムクドリは、すぐに草の上におりて、虫をくわえなおしやっと飛び立ちました。 ・スズメは近くの高速道路のトランスに入って行きました（一羽）。草原でケンカしているムクドリもいて、ほほえましく思いました。	Bブロック
23	ツバメ ムクドリ	・賑やかだったのは、ツバメとムクドリ。 ・ワンドの工事はまだ終わらない、6/17までだそうだ。	Bブロック
24		・暑くなる日でしたので、朝方も鳥の活動が活発ではないように感じました。	Aブロック
25	チョウゲンボウ	・真夏日になりましたが、乾燥しており、空気が軽い印象がありました。 ・開始時は涼しく、8時台になると刺すような陽射しになりました。荒川区の対岸にはキアシシギも見られましたが、ダイサギやアオサギは荒川方面に移動したようでした。 ・千住橋戸町のマンション、「アクアビスタ」付近の川沿遊歩道でウォーキング中の住民と話をしました。珍しい鳥が巣をつくっているが、カラスに追われてかわいそうだということからはじまり、しばらく話すうちにチョウゲンボウのことを言っているとわかりました。2018年3月モニタでつがいについて報告しておりますが、同じ場所での営巣と思います。この方の情報では4～5羽いたこともあるようでピンポイントでしばらく観察を続けようかと思います。 ・事業用の鉄橋にはカラスも巣（ハンガーを多用しています）をつくっていてその近くにもうひとつ巣があり、こちらがチョウゲンボウの巣のようです。2個体（雌雄と思います）が周囲にいました。数年前まで西新井橋北詰首都高桁下のカラスの巣の近くにチョウゲンボウがいたことを考えると、移動したのかもしれません。カラスとチョウゲンボウの関係も興味深いです。 ・千住神社でヒタキ類を期待しましたが、はずれました。	Aブロック

令和元年5月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
26	カルガモ	・数日前の雨の影響がまだ残り川は濁って水位が高かったせいか、川ではカルガモしか見かけなかった。 ・運動会や選挙等早朝から人の出入りが多く、鳥達は比較的静かにしている印象でした。	Dブロック
26	コゲラ	・都市農業公園の池近くの林で甲高い声の方を探すと、コゲラが忙しなく動き回っていた。ここでは数年ぶりの観察。	Cブロック
26	ムクドリ	・5月というのに真夏の暑さの日だった。雨戸の戸袋に営巣・子育てをするムクドリを多数見かけた。	Dブロック
26	ハシブトガラス	・野鳥モニターを委嘱され、はじめての調査というのに、ハシブトガラスに襲われた。巣を見たわけでもなく、郷土博物館近くの電柱に留まっている親鳥を見ただけなのに。目を合わせただけで襲ってくる。これで、襲撃されたのは三回目。だから、カラスは嫌いだ。	Eブロック
27	スズメ	・スズメの巣や幼鳥が確認できました。 ・例年ツバメが住宅街でも見られる時期ですが、今回は見られませんでした。	Bブロック
30	ムクドリ	・毛長川沿いの住宅と公園隣の住宅でムクドリが子育て中で、親鳥がしきりに餌を運んでいるのをみかけました。 ・神社ではツミが巣をかけた木を見かけたが、放棄したというお話が聞けました。	Cブロック

令和元年5月（繁殖行動確認）

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者（敬称略）
カルガモ	東綾瀬公園の池	13	・17羽のヒナを連れて泳いでいた。	Eブロック
			・ヒナ16羽で1羽カラスに食べられたと聞いた。	
	毛長川（舎人四丁目）	15	・カルガモの親子を確認した。（ヒナは1羽のみでした）	Cブロック
	東綾瀬公園の池	22	・珍しく池から上がって移動していたが、12羽に減。昨日の雨で何か有ったか？	Eブロック
キジバト	舎人四丁目7番地	4	・倉庫の屋根の下に枝を運んで巣を作っている。	Cブロック
ハシボソガラス	江南公園	3	・ケヤキの上部に巣。産卵後に区で対応する注意書きあり。	Aブロック
		10	・抱卵中。長い尾がみえる。	
シジュウカラ	舎人氷川神社（舎人五丁目）	15	・神社の境内にあるケヤキの木に嘴の黄色いヒナを観察した。	Cブロック
ツバメ	舎人四丁目10番地（住宅駐車場）	4	・駐車場内の巣に留まっているツバメを確認。（一昨年、昨年も営巣/繁殖した場所） ・5/28：3羽のヒナが育っていることを確認。	Cブロック
	六木三丁目	5	・抱卵らしく尾だけ見えた。	Eブロック
	六木四丁目		・巣の下がすごく汚れている、親鳥は見えない。	
	神明南一丁目店舗軒下2個	6	・巣ごもり及び巣下の糞。	Eブロック
	神明南一丁目個人宅駐車場		・巣ごもり。	
	保木間四丁目50番	19	・交差点民家で2羽が古巣の補修中でした。	Dブロック
	病院夜間玄関の配管の上	22	・巣の中にいる。	Aブロック
	歯科医院	24	・古巣で抱卵中。長い尾がみえる。5/31も確認。	Aブロック
	舎人三丁目4番地（住宅駐車場内）		・昨年も営巣が確認された駐車場の壁にある巣を補修しているツバメの様子を5月4日に確認したが、24日には巣に入っているツバメを確認した。	Cブロック
	民家ガレージ	26	・営巣2つ、片方に1羽親鳥確認。	Eブロック

令和元年5月（繁殖行動確認）

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者（敬称略）
ツバメ	六木三丁目	26	・ヒナ４羽見られた。	Ｅブロック
	六木四丁目		・巣の下が少し汚れている。	
	保木間四丁目ガソリンスタンド（エリア隣）		・巣ごもりの様子、まだヒナはいないようであるが…。	Ｄブロック
	西竹ノ塚二丁目4番地　民家		・ツバメ営巣。ヒナ6羽が孵った。	
	六木三丁目	31	・巣立ちしたのか、何かに襲われたのか、いなかった。	Ｅブロック
	六木四丁目		・巣の下がきれいに掃除されている。	
ムクドリ	千住曙町6	6	・親鳥の出入りとヒナの声。（観察記録参照）	Ａブロック
	外階段（鉄骨）のすきま	7	・餌をくわえて、すき間に入っていく。	Ａブロック
	民家の戸袋	10	・親鳥の餌運び。	Ｄブロック
	神明二丁目	13	・古いアパートのエアコンの配管に出入り。	Ｅブロック
	日ノ出町	17	・餌を咥えて、民家の戸袋の中へ。	Ａブロック
	荒川河川敷	18	・成鳥が餌をくわえて住宅地に飛んでいった。住宅地の中にあるであろう巣のひなに運んでいるのでしょう。	Ａブロック
	宮城一丁目の民家1-戸袋	18	・餌をくわえて戸袋に出入りする。	Ａブロック
	宮城一丁目の民家2-戸袋	19	・親2羽で餌を運ぶ。ヒナの声複数	Ａブロック
	屋根下		・給餌時の鳴き声。	Ｂブロック
	民家2階の戸袋	22	・餌をくわえて戸袋の中に入っていく。	Ａブロック
	舎人三丁目13番地	24	・毛長緑道に接する民家の戸袋（雨戸）に営巣して、親鳥が餌を運んでいる。親鳥が餌を持ってくる都度、中からヒナの声が聞こえる。	Ｃブロック

令和元年5月（繁殖行動確認）

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者（敬称略）
ムクドリ	保木間三丁目民家	26	・壊れかけた古い巣箱に親鳥が餌を運びヒナの声が聞こえる。	Dブロック
			・雨戸の戸袋に営巣、給餌によるヒナ鳥の声。	
	保木間二丁目民家			
	保木間二丁目店舗		・工場ともいえる店舗、高い波板鉄板の屋根三ヶ所。親鳥の出入り、ヒナの声。	
	保木間四丁目		・ガソリンスタンドでツバメが巣ごもりの様子。まだヒナはいないようであるが…。	
	毛長川沿い	30	・親鳥が餌を運んでおり、塀の中からヒナたちの声が聞こえた。	Cブロック
	白幡公園			
スズメ	千住五丁目	17	・交尾、餌を咥えて変圧器の下部の穴の中、数か所。	Aブロック
	住宅地のあちこちで	18	・まだヒナはでていないようです。	Aブロック
	電柱のトランス	19	・親鳥の出入回数多い。	Aブロック
	屋根下		・給餌時の鳴き声。	Bブロック
	舎人四丁目2番地		・スズメの親が路上に落ちた木の実を、子スズメ（2羽）に与えていた。	Cブロック
	新田二丁目児童公園	24	・ヒナが親鳥から食べ物をもらっていました。	Bブロック
	梅田五丁目民家	27	・親鳥が近づくとヒナの声が聞こえた。	Bブロック
	関原三丁目電柱		・親鳥が近づくとヒナの声が聞こえた。	
			・枯れ草を電柱の機械上に運んでいた。	

《モニター担当未配置地区》

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者（敬称略）
ツミ	諏訪木第三公園（西新井四丁目）	16	・公園にあるケヤキに営巣してツミが留まっている（5月26日にも巣に留まるツミを確認）	Cブロック

令和元年6月(繁殖行動確認)

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
カルガモ	見沼代親水公園	13	・親鳥とヒナ3羽が水路で泳いでいる様子を確認。	Ｃブロック
アオサギ	舎人公園	7	・アオサギ若鳥確認。	Ｄブロック
コチドリ	新田わくわく水辺広場	29	・成鳥が幼鳥2羽をつれていた。	Ａブロック
ツミ	舎人公園	25	・営巣確認。	Ｄブロック
ツバメ	歯科医院	9	・巣はつつかれた跡、ツバメの姿はなかった。	Ａブロック
	西竹ノ塚二丁目4番地　民家	26	・5/26に確認したのと同じ家で、別の2羽が巣作り中。	Ｄブロック
スズメ	新田わくわく水辺広場	1	・親子で数羽いました。	Ｂブロック
	西新井駅西口	13	・巣の中に雛が4羽いました。	Ｂブロック
	江南公園	23	・幼鳥2羽が羽を振るわせて親から餌を貰う。（2：30）	Ａブロック

《モニター担当未配置地区》

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
ツミ	諏訪木第三公園 （西新井四丁目）	20	・5月16・26日に確認した巣で、4羽のヒナが誕生していることを確認。	Ｃブロック

令和元年7月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
3	ツバメ コチドリ カワセミ イソヒヨドリ	・巣立ったばかりのツバメの幼鳥5羽が電線に留まり、成鳥から餌をもらっていた。 ・河川敷の使われていない駐車場のガレキの上にコチドリの成鳥2羽と幼鳥2羽がいた。成鳥にくっついて歩く幼鳥がかわいかった。 ・青い鳥が2種、カワセミとイソヒヨドリが観察された。イソヒヨドリのオスの近くにはメスもいた。	Aブロック
6		・早朝の雨が上がった所で、ヒヨドリのさえずりを聞きながら出発。 ・ノウゼンカズラや百合の花など夏の花があちこちで咲いていた。 ・1時間程経ったところで、細かい雨が降りだした。傘を差さずに暫く調査。8時少し前、ついに傘使用。10分程で止む。 ・最後に、ヒヨドリの声を聞いて、無事終了。	Eブロック
10		・年々、河川敷でのオオヨシキリの激減を感じる。	Bブロック
11	ドバト	・天気;曇り、風弱し、梅雨寒20℃以下、ドバト53羽以上。 ・風も無く静か、野鳥の気配を感じない。銀杏に丸い実が下がっていた。まだ小さい。ムクゲ、アジサイなどの花が咲いている。	Aブロック
11	ツバメ	・パターゴルフ横の野球場の上空を、ツバメが３羽じゃれ合うかのように飛び交っていたが、そのうちの１羽が芝の上に止まった。 ・他のツバメが飛びながら近づくと、そのツバメも飛び立った。その行動を２回繰り返した。芝の上のツバメは、何をするでもなく、ただ止まっているだけで、他のツバメを待っているかのようだった。 ・日暮里・舎人ライナー下の池のそばで、男性から「この近くでミミズクが巣を作っている」との話を聞いたが、確認できなかった。	Bブロック
13	ツバメ	・旧綾瀬川沿いを墨堤通に出ると道路の向こうの電線にツバメが多数とまっているのを見つけた。近寄ってみると、下のタクシー会社の車庫からツバメが出入りしている。のぞき込むと巣が多数あり、現在もヒナに給餌している巣があるのも確認できた。観察数は一応１９としたが、巣の中にいるものや採餌に出ているものを含めたらもっと多数になるはずだ。 ・これほどのツバメの集団営巣は久しぶりに見た。	Aブロック
13	アオサギ スズメ ムクドリ	・野原の周りは静まり返っていました。赤つめ草は野原いっぱいに咲き誇りとてもきれいでした。 ・調査を始めて間もなく、アオサギ4羽とそのすぐ後から50羽くらいの鳥も通過しました。暫くすると先ほど集団で通過していったと思われる鳥たちが引き返してきましたが、確認できませんでした。 ・可愛らしいスズメ親子、ムクドリ親子にも会えました。	Bブロック
13	コサギ アオサギ カワセミ	・連日、梅雨空が続く中で雨が止み観察時間帯と干潮時刻と重なる本日（13日）を観察日にしました。 ・舎人緑道公園の工事が5月7日から開始され、工事区間で野鳥の観察はありませんでした。 工事区間の下流（境川部屋前）でコサギ、上流では（舎人6丁目）でアオサギを観察しました。 ・カワセミは毛長川の上を飛んでいる姿を観察しました。	Cブロック

令和元年7月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
13		・天気は曇り、風はほとんどなし。湿度高め。 ・前回見た大谷田一丁目団地10号棟北の道路沿いのケヤキの樹上のカラスの巣（巣材は針金ハンガーや枝など）は放棄されているようでした。 ・大谷田一丁目団地北の道路付近でオナガの声、一丁目9の住宅の生垣からシジュウカラの声複数、明神の湯東の駐車場でキジバトの声が聞こえましたが姿は確認できませんでした。	Ｅブロック
13	ヒヨドリ スズメ アオサギ ツバメ キジバト オナガ ハシボソガラス	・午前5時45分、曇り空が明るくなり久しぶりに少し太陽が見えた。早速、調査を開始する。 ・午前6時、やっと神明南公園でヒヨドリ2羽を確認した。雪見公園ではスズメ3羽。神明南一丁目11番上空では南から北方向へアオサギ1羽が飛んでいくのを確認した。 ・午前6時45分、千草園のツバメの巣にはツバメの姿なし。近くで飛んでいるツバメ1羽を確認した。 ・午前7時15分、北加平公園でキジバト2羽、オナガ2羽を確認。神明コミュニティ広場でハシボソガラス2羽を確認して調査を終了する。	Ｅブロック
15	カワセミ	・草加の雨が上がったので出かけてみましたが、足立区は雨が残っていました。去年は暑さの中ヒーヒー言って歩いていましたが、今年は涼しくて快適です。 ・西新井橋からカワセミが見られて今日の調査が報われました・・なんて書くとスズメやムクドリに悪いか？	Ａブロック
19	ツミ オナガ	・7月15日4羽目のヒナが巣立った（ツミ）。 ・ツミがオナガの巣を襲い、壊した。襲われたオナガのヒナ3羽は下に落ちて死んでいた。 ・公園は蝉の穴だらけで陽がさすと鳴き声が聞こえた。 ・7月20日はミンミン蝉の初鳴きを聞く。	Ｅブロック
20	ムクドリ オナガ ヒガラ エナガ	・7月20日（土）7月に入っても連日の曇りや雨の空が続いています。今朝は、何とか雨が落ちてこないようなので調査に入りました。風もなく、少しむし暑い朝ですが、鳥達のさえずりや、鳴き声が少なく静かです。カラスだけは通る声で鳴いています。 ・ムクドリの幼鳥、成鳥が交じり合って、草はらの中で集団で餌を取っています。 ・オナガが鳴き1羽が通過しました。数羽が続くのかと思いきや続きません。その後、又同じような場面がありましたが、テニスコート付近で2羽、3羽と続いて飛ぶ姿を見ました。これがオナガの基本の姿と安心して12羽の数を取りました。 ・少し行くと木の葉の中に動き回る1羽の小鳥を見かけました。シジュウカラかなと思いましたが、よく観るとヒガラでした。小さなセミを捕らえ食しています。その近くにエナガの姿がありました。めまぐるしく動き回っています。この公園ではめずらしい種類です。 ・大池は、静かそのものです。水鳥が水面に少なく、陸にあがって餌を取ったり、体を休めている姿が多く見られました。	Ｃブロック
20	ムクドリ	・ムクドリは幼鳥だった。オナガやヒヨドリの鳴き声は聞こえたが葉が茂っていて見つけられなかった。	Ｅブロック
21	アオサギ	・堀切橋寄りの葦原にかろうじてオオヨシキリの鳴き声を聞く。 ・係留されている船の上にアオサギ1羽。	Ａブロック

令和元年7月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
21		・曇。梅雨模様で、観測のタイミングがいつもより遅れてしまった。 ・足立の花火の翌朝、ゴミの片付け、現状回復の早さに感心した。 ・荒川の水が前回より澄んでいる感じ。	Ｂブロック
21	ムクドリ オナガ	・気象状況の不安定な日が続いているせいか鳥の数は少ない。 ・その中、梅島東公園で、芝をついばむ幼鳥を連れてのムクドリの一家が、オナガの鋭い一声にバタバタと飛び立っていく光景を見ました。	Ｄブロック
21	オナガ シジュウカラ	・梅雨明けを待たずに、セミが鳴き出した。 ・あまり変わり映えのしない面々だった…オナガ、シジュウカラにエサをねだる幼鳥の姿が見られた。	Ｄブロック
21	オナガ ムクドリ	・梅雨の空の中で、オナガやムクドリが目立っていた。 ・足立区の他の地域では、19日よりニイニイゼミの声も聞くことができるようになった。	Ｅブロック
21	ツバメ コチドリ	・ツバメが星和ネジ屋さんに4個巣を作っていて、近くの電線に幼鳥が並んでエサをもらったり、飛ぶ練習をしたりしていました。随分前にはツバメが巣作りする場所だったようですが、私が調査をするようになってからは初めてです。 ・佐野の森をつぶして更地になった所にコチドリの親子を見つけました。 ・7月は鳥の少ない月なのですが、16種出てくれました。	Ｅブロック
22	ドバト	・曇りの天候でした。 ・ハト（ドバト）は、餌付けのため、沢山集まっている地点がありました。	Ａブロック
22	ツバメ	・雨の日が続き、当日も霧雨でした。気温は例年の７月に比べると涼しかったです。 ・ツバメが飛んでいるのがよく見られました。 ・西新井栄町のマンションの中の通りで、イソヒヨドリのような声を聞きましたが、確認できなかったので、記録にのせていません。	Ｂブロック
24		・梅雨明けを思わせる雲の動きを見ながらのモニターとなりました。夏休みになって間もないせいか河川敷のグラウンドも静かで、この時期としてはまあまあの種類と数が確認できたと思います。ただ、いつもなら賑やかな声を聞かせてくれるオオヨシキリが一羽も確認出来なかったのが少し残念でした。	Ｂブロック
24		・今夏は、梅雨時間の多い記録的な日々。子育て中の野鳥もいたはず。 ・後々に、野鳥の数が減るのではと心配。 ・拘置所脇の水路、ウシガエルの姿初めて。	Ｄブロック
25	ムクドリ	・蒸し暑い中の調査、確認作業は4種と少なかったです。 ・ムクドリが生きたセミを口にくわえて木の洞の中に入って行きました。まだ子育てをしているのでしょうか。	Ｄブロック
25		・梅雨明けがまだですが、晴れの日の調査となりました。確認種数は6種と少なかったです。 ・ミンミンゼミの鳴き声、赤白のキョウチクトウの花が夏を感じさせました。	Ｄブロック

令和元年7月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
26	ハシボソガラス	・巣立ってまだ自由に飛べないハシボソカラスの幼鳥1羽が、枝に止まっていた。 ・羽は光沢なく、口の中は赤い。親の攻撃があるかと公園内の建物を背にしてしばらく見ていたが、親はいつの間にかいなくなっていた。	Aブロック
27	ゴイサギ	・この調査地域ではゴイサギは珍しく、しかもまだ茶色の幼鳥でした。	Cブロック
27	カワラヒワ	・葛西用水桜通りを歩いているとき、水面から何か聞きなれない鳴き声？！がするので、対岸から覗き込むとコイであった。 ・中川は、水鳥が全く見られないのが、寂しかった。丁度、干潮から満潮への上げ潮の時間帯で、川が逆流していたのが原因だろうか。 ・本日の調査終了間際に、電線に留まっているカワラヒワを見れたのが、唯一の救いであった。 ・小雨がやんだ直後から調査を開始し、蒸し暑くなる直前で調査を終了した。	Eブロック
28	オナガ	・梅雨も明け、鳥たちの数も少なめでした。公園でオナガの巣立ちが始まったようで、頭がボサボサの若鳥が見られました。	Cブロック
29	スズメ	・梅雨明け間近で朝からむし暑く、早く出たが、鳥の数が少なかった。 ・スズメがセミを捕食している所を近くで見られた。雑食を痛感した。	Cブロック
29		・台風明けの、暑い日なので、いつもより鳥の数は明らかに少なかった。	Dブロック
30	ツバメ	・6時台から暑く、全体的に鳥が少ない印象でしたが、雨が降りそうな雲の下でツバメが高く飛んでいました。	Aブロック
30		・長梅雨で朝ぐずついた天気が多く、野鳥観察のタイミングがなかなか無い月だった。梅雨が明けた途端早朝でも暑く、鳥達よりもセミの声が響く朝だった。	Dブロック
31	ハシブトガラス オナガ ムクドリ	・梅雨明けの暑い日、幼鳥と思われる4羽を連れたハシブトガラス、尾羽の伸びきっていない幼鳥を連れたオナガ、まだうす茶色のムクドリの幼鳥が多数目についた。	Dブロック

令和元年7月(繁殖行動確認)

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
カルガモ	東綾瀬公園	19	(5月報告分) ・1回目誕生　17羽→5羽成鳥	Eブロック
			・2回目誕生　10羽→3羽	
			・3回目誕生　8羽→3羽	
			・4回目誕生　4羽→居ない	
ツミ	舎人公園	13	・ヒナの成長を確認。	Dブロック
	東綾瀬公園	15	・桜の木の高い巣で4羽巣立った。	Eブロック
オナガ	新田第二児童公園	6	・親から食べ物をもらっていました。	Bブロック
	舎人氷川神社 (舎人五丁目)	13	・神社境内の桜の木に営巣しており、親鳥が餌を与えている様子を確認。	Cブロック
ハシボソガラス	江南公園	26	・巣立った幼鳥1羽。まだ自由に飛べない。羽は光沢なく、口の中は赤い。	Aブロック
シジュウカラ	本宿神社	15	・幼鳥を見た。	Aブロック
ツバメ	新田一丁目	3	・電線に留まった幼鳥5羽に成鳥がエサを与えていた。	Aブロック
	千住曙町38番地	13	・営巣とヒナへの給餌。	Aブロック
	西新井橋	15	・幼鳥を見た。	Aブロック
ムクドリ	新田二丁目、住宅	1	・戸袋の中のヒナに成鳥がエサを運び、ヒナの声が聞こえた。	Aブロック
	梅島東公園	21	・幼鳥と共に芝をついばんでいる。	Dブロック
	尾竹橋公園	15	・幼鳥を見た。	Aブロック

令和元年7月(繁殖行動確認)

種　　名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
オオヨシキリ	新田わくわく水辺広場	8	・幼鳥？頭がボソボソで尾羽が短い。	Ｂブロック
スズメ	全域	15	・幼鳥を見た。	Ａブロック
カワラヒワ	新田第二児童公園	16	・親から食べ物をもらっていました。	Ｂブロック

令和元年９月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
6	カワセミ ハクセキレイ	・5月7日に開始された舎人緑道公園の工事は続いており、工事区間で野鳥の姿はありませんでした。 ・カワセミは毛長川の尾久橋道り近くで♀を、見沼代用水との合流場所で♂を観察しました。 ・ハクセキレイは毛長川の干潟で餌を探していました。	Ｃブロック
7	スズメ ムクドリ オナガ	・千住東の住宅地では全くと言っていいほど鳥の姿を見ない。千住曙町に入ってやっとスズメやムクドリが姿を見せ始めた。ムクドリは明らかに若鳥と思われる個体が多い。前回調査でツバメの集団営巣のあったタクシー会社にはもうツバメの姿はない。 ・隅田川は大川端公園が工事中で通りにくくなっているが、鳥の姿がないので調査に問題はなかった。 ・千住関屋町ではオナガの小さな群れに出会ったが、その中の2羽は翼をばたつかせるねだり行動をしていたので、今年巣立ちの若鳥だろう。 ・関屋公園では伸びた雑草の中から突然スズメとムクドリの群が飛び出して一気に個体数を稼いだが、近づかなければ全く気付かなかったと思う。	Ａブロック
7	ムクドリ ダイサギ	・今年（9/7）は例年とほぼ同じ13種が観察された（昨年9/6、14種、一昨年9/3、13種） ・例年この時期、市街地の公園でムクドリの群れが見られ、今年150羽、昨年200羽、一昨年240羽が観察されている。 ・早朝、青空を飛翔するダイサギの群れが5羽（モニタリングの2日後には14羽の群）、優雅ですがすがしく感じられた。	Ａブロック
7	コサギ	・干潮時間と重なり、川岸は干潟状になりカニがたくさんいたが、鳥の姿は全く見えなかった。 ・コサギが、扇大橋の下の川で採食していた。腹まで浸かる深さで、水中を探るように下流方面に歩いていたが、魚は全く捕れなかった。	Ｂブロック
7	ハシブトガラス ドバト	・翌日の夕方から台風が直撃する予報であるが、この日は、気持ちのいい天気。土曜日は、ごみの収集日というのに、ハシブトガラスが妙に少ない。前回まで報告対象外であったドバトも記録に取ったが、思ったほどはいない。 ・中川は、クルーザーが通過した後の魚を狙う鳥すら皆無。	Ｅブロック
8	スズメ カワウ ヒヨドリ キジバト	・午前6時15分、機材を確認し、記録用万年筆を片手に出発。なかなか鳥と遭遇しない。さえずりに顔を向けるも単独が多い。 ・午前6時35分、雪見公園の西側にある工場の屋根にスズメ10羽を確認した。午前6時45分、花畑川は干潮か、岸近くの川底が見える。上空を西方向から東方向へカワウ1羽。 ・午前7時15分、神明コミュニティ広場近くの電線上でヒヨドリの幼鳥がピーヨヒーヨ等と成鳥より大きな鳴き声。 ・午前7時30分、北加平公園南側の桜の木にキジバト2羽を確認。間もなく、近くの松の木に移動した。巣作りか、次回、巣の跡を観たい。	Ｅブロック
14	ムクドリ スズメ ハシブトガラス	・朝からどんよりと曇った空は9時頃から雨が降り出してきました。 ・ムクドリ、スズメ、ハシブトガラスを多く見かけました。 ・草原からは美しい虫の声が聞こえてきました。秋を感じながら楽しい調査になりました。	Ｂブロック

令和元年9月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
14	カルガモ	・猛烈に強い台風15号が、9日深夜から10日未明に関東地方を通過しました。その4日後の14日（土）舎人公園の野鳥調査です。 ・公園内の倒木や枝折の木々が多く見られ、この影響か、野鳥の姿があまり見られません。特にスズメは調査時間内（AM 7:00から10:30）3時間半の間に1羽も見られませんでした。 ・調査後、いつもスズメの多くいる場所2ヵ所へ行ってみましたが、1羽も見ることができませんでした。 ・種類も個体数も全体的に少なく、台風の影響と思われます。 ・舎人公園C地区の自然観察園が8月から一周できるようになりました。観察窓のまわりはヨシが茂り見づらいのですが、18日に刈り込みする案内がしてありました。この見づらい観察窓からのぞいて見ると、カルガモが1羽いただけでした。 ・これから、このまわりに色々な野鳥が多く来てくれることを期待しながら一周してみました。	Cブロック
14	ムクドリ スズメ	・今朝は今までの暑さがウソのように涼しくなった。 ・小雨模様のためか、鳥の数は少ない。 ・ムクドリ、スズメが土手で群れているのが印象的だった。	Eブロック
15		・雨上がりのためか、全体的に鳥の数、種類、共に少なかった。	Dブロック
15		・白露を過ぎて、秋らしくなりましたが、冬鳥の飛来はこれからでしょうか。	Dブロック
15		・9月になり、晴天、微風のすがすがしい気候の中の調査でしたが、民家の庭の柿の木の実が大きくなり、味覚の秋を感じました。	Dブロック
15	キジバト	・野鳥の数が少ない中であったが、キジバトが目立っていた。 ・コオロギの鳴き声がよく聞こえた。	Eブロック
18	スズメ	・クチバシの黄色い子スズメばかりが約80羽群れていました。	Bブロック
18		・台風15号の通過後のモニターとなりました。荒川の河川敷は思ったほどの被害はなかった様には見えましたが、河川敷に多いオニグルミの実はほとんど下に落ちてしまっていました。 ・野鳥はまあまあの種類と数が確認できたのですが、常連のカワウ、ハクセキレイ、ヒヨドリの姿をみることは出来ませんでした。	Bブロック
18		・今朝は涼しい朝です。でも鳥の姿も声もなく変な感じ。虫の鳴き声がよく聞こえました。	Dブロック
19	ウミネコ スズメ	・晴れ、東寄りの風、富士山がかすかに見える。 ・ウミネコ、千住新橋の街灯にほぼ揃って1羽ずつ乗っている。 ・8:00過ぎから曇り、北東の風。 ・とにかく、町も川原も静か、スズメなども少ない。 ・台風15号の影響か？河川敷一帯が芝刈り作業の後で鳥が逃げたのか?下草は昨日の雨のせいか露でびっしり。	Aブロック
20	ハシボソガラス スズメ ムクドリ	・堀切橋寄りの河川敷に上がると京成線の鉄橋でハシボソガラス2羽が鳴いていたが、それ以来、鳥の気配はまったく感じられず、桜堤中学校前から土手へ上がろうとすると、スズメが10羽餌をついばんでいた。あとはムクドリが1羽河川敷に飛翔してきた。	Aブロック

令和元年９月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
20		・明日は台風襲来の予報がなされたり、気象状況の厳しい日が続いています。 ・代替わりした広々とした跡地、公園の工事のせいか鳥の数が少ない。 ・今朝のベルモント公園では、一羽も見ることができませんでした。	Ｄブロック
20	ムクドリ	・夏の終わりの公園は疲れたように静かで、蝉の声は虫の音に代わっていた。 ・ムクドリは電線に勢ぞろいして止まった。 ・公園の池で育ったカルガモはどこに行ってしまったのでしょう。	Ｅブロック
21	チョウゲンボウ ハシブトガラス ハクセキレイ	・静かな河川敷でしたが、今回2度もチョウゲンボウに会いました。1羽は荒川上空をハシブトガラス2羽に追われて北に飛び去り、その後尾竹橋脇のマンションの屋上からハクセキレイにモビングされて、別個体のチョウゲンボウが一羽飛び出して北千住駅方向に飛んでいきました。	Ａブロック
22		・先月と比べ、すっかり秋めいた様子。セイタカアワダチソウが色付き始めた。	Ｂブロック
22	スズメ オナガ	・スズメの数が少なかった。 ・オナガの群れが多く見られた。	Ｂブロック
22	スズメ ツバメ	・ヒツジグモの広がる秋空の下、野鳥の影は薄かった。その中でスズメの大群が目立った。 ・ツバメが水面を飛び交っていたが、この季節にツバメ？の姿は不思議な感じがした。	Ｂブロック
22		・急に涼しくなって、鳥が増えたかと思っていたが、少なく感じた。 ・台風の被害か、大きな木が何本か根元で切られていた。多少なりとも木が減れば鳥に影響はあるだろう。	Ｃブロック
22	ムクドリ スズメ	・朝は雨が降っていたので、あまり見られないかと思ったが、グラウンドの草刈りをしていた後だったためか、草刈りをした後の草原にムクドリやスズメの群れがたくさんいた。	Ｅブロック
22	ヒヨドリ ムクドリ コムクドリ	・今日は鳥数も種類も少なかった。 ・夏の頃は姿を見なかったヒヨドリが帰ってきた。 ・垢川沿いの椋の実は何ヶ所か落ちていたが、ムクドリは少なかった。 ・コムクドリ1羽（♀タイプ）は、ムクドリ1羽と電線に止まり、行動を共にしていた。	Ｅブロック
24	モズ	・鳥の声は少なく静かな朝。3月からの隅田川左岸の防潮堤耐震補強工事で今も近寄れない。 ・荒川河川敷に出るとモズの高鳴きと一面金色に輝くエノコログサの草原にキチョウや虫の声。 ・秋の感じにおもわず深呼吸をする。やはり自然はいい！心なごむひとときに感謝する。	Ａブロック
25	オナガ ドバト	・秋の渡りの時期でしたが、渡り鳥は確認できませんでした。留鳥も少ない気がしました。 ・オナガとドバトが、まだ青いムクノキの実を食べていました。	Ｂブロック

令和元年9月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
28		・秋めいてきました。無風に近く、朝日も出ました。薄曇りで暑くはありませんでしたが、湿気を感じました。野鳥は少ない印象でした。 ・隅田川の対岸（荒川区）にカルガモ、コサギ、アオサギが観察できました。山の鳥が見られるかと思い、公園や千住神社では気をつけて観察しましたが、残念な結果でした。	Aブロック
28	ヒヨドリ	・暑い日が続いており、鳥たちの数も少なめでした。それでもヒヨドリたちが賑やかになってきたように感じました。	Cブロック
28	ハシブトガラス スズメ ヒヨドリ ムクドリ	・天気は曇り、薄日が差し、後半は晴れました。湿度高め。 ・大谷田一丁目団地公園内でシジュウカラ1羽、大谷田一丁目21番地の住宅北の林でキジバト1羽の声が聞こえましたが姿は確認できませんでした。 ・大谷田一丁目団地のスーパー付近ではハシブトガラスの声がよく聞こえました。路上に糞の跡も目立ち、たくさんいるようでした。 ・第三児童遊園や付近の住宅地ではスズメの声がたくさん聞こえました。ヒヨドリの数が増えたように思います。 ・群れでいるスズメやムクドリの個体数が以前に比べ多い（10以上）ので驚きました。	Eブロック
29	スズメ	・あちこちで小鳥達のさえずりは聞こえるものの、餌食べに夢中なのかなかなか姿は見えなかった。スズメたちは元気にしていた。	Dブロック
29	コゲラ	・台風の影響などで最終日曜日の観察になったが、本日も雨の予報、数も少ない、季節が混在していた。 ・もう「コゲラ」が来ていたと思いきや、桜花亭では「つくつくぼうし」が賑やかに鳴いていた。	Dブロック
29		・夏の様な天気の中での探鳥でした。鳥の数も種類も少なく残念でした。	Eブロック
30		・久し振りで、平日調査。車の多い所は鳥の声が聞きづらいので、やはり、休日にすべきだと思った。木の葉の茂みの中で群れの鳴く声が聞こえていたので、涼しい朝の気分を楽しんでいたのか？全体的に、姿が少なめだった気がする。 ・彼岸過ぎに咲き出した、ヒガンバナがあちこちで満開。キンモクセイの花も今年は見ていない。気候が変わってしまったようだ。	Eブロック

令和元年10月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者（敬称略）
7	スズメ	・幼鳥3羽、1羽は白色でとても小さかったです。	Ｂブロック
9	カワセミ	・幼鳥が、ヨシを背にして魚をねらっているようでした。	

令和元年11月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
2		・河川敷はぬかるんだまま。野鳥の姿は少なかった。嵐などの時、野鳥はどのように過ごしているのだろうか。	Ｂブロック
2	ムクドリ ヒヨドリ	・ムクドリとヒヨドリは熟し始めた柿の木の周りに多く居た。ピラカンサの実も赤くなり始めたので、小鳥たちは、暫く毎日飽食の日々が続きそうだ。人にとっては、朝、布団から出るのが辛くなる季節でもある。 ・天気が良く気持ちよい観察ができたが、数が多かったせいか、時間が余計に掛かってしまった。 ・メジロの声が聞こえた気がしたが、姿を見ることはできなかった。	Ｅブロック
3	コサギ モズ	・台風19号のため、泥が溜まっていて調査できない区域があった。今まで干潟状になっていた木工沈床の内側にも泥が溜まり、乾燥化が心配される。 ・台風によりパークゴルフ場にできた水たまりで、コサギが歩きながら水面をついばんでいた。飲み込む動作をしないので、魚ではないと思われる。グリーンの所にモズが止まっていたが、コサギが近づいたため、近くの木の頂に飛び去った。 ・台風で河川敷が浸水したためか、昆虫が全くと言っていいほど見られず、モンシロチョウを2頭確認しただけだった。	Ｂブロック
4	ムクドリ メジロ ハクセキレイ スズメ	・秋が深まり、様々な野鳥を見つけた。柿の木の実を食べるムクドリや、山茶花の花に近づくメジロ、公園の芝生を歩くハクセキレイやスズメなど、鳴き声だけでなく実体に会うことができた。	Ｅブロック
4	ジョウビタキ	・8種類の確認は、まずまずの成果です。ジョウビタキの鳴き声に季節を感じました。	Ｄブロック
4		・ようやく天候が安定して、調査の成果も11種類が確認できました。2桁の種数は久々です。 ・これから冬鳥の季節なので多くの出会いを楽しみにしています。	Ｄブロック
5	キンクロハジロ マガモ オオバン ユリカモメ セグロカモメ カルガモ ダイサギ アオサギ	・野鳥が19種（昨年22種）観察された。 ・ウグイスのササ鳴（初認11/4）を聞く。キンクロハジロ、マガモ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメなどの水鳥がやってきた（昨年はヒドリガモもいた）。 ・荒川右岸河川敷の新東京都民ゴルフ場が台風19号で水没してしまった。現在、潮の引いた干潟のようになっており、そこにカルガモ、ダイサギ、アオサギ、ユリカモメなどが群れていた。	Ａブロック
7	ムクドリ	・日の出（6:08）前の6時少し前、新田二丁目の高圧線の鉄塔にムクドリが集結し、ジャージャーとうるさい。その数は数千羽を優に超えるが、正確な数はわからない。6時を過ぎる頃から、50羽～数百羽の群れが次々と飛び立って行き、6時30分にはいなくなった。	Ａブロック
7	クサシギ ツグミ ジョウビタキ	・先日の台風19号の冠水の影響で河川敷の土の道はまだぬかるんでいる箇所があり、また葦原も倒れたりゴミがからまったりしていました。ただ、今回狭い干潟でクサシギ1が観察できました。担当地域では初記録になります。 ・ツグミやジョウビタキも一羽づつですが確認できて、季節は確実に移り変わっていることを教えてくれました。	Ａブロック

令和元年11月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
8		・河川敷は、台風19号の影響でペットボトルなどのプラスチックゴミが大量にあるのが気になる（環境悪化）。区の対応？	Ｂブロック
9		・スタート地点の大踏切から千住東町を過ぎるまでほとんど鳥の姿を見ない。心配しながら千住曙町に入ると大木の下に柿の実が熟している家があり、多くの鳥が入れ替わり立ち替わり集まって来る。ここだけで6種を数えた。 ・トウネズミモチの実は既にボウズになっていたが、ピラカンサはまだ全く手付かず。鳥は美味しい順に食べていくのだろうか。	Ａブロック
9	ユリカモメ ハクセキレイ ヒヨドリ	・ひんやりとした空気でしたが、草の中から美しい虫の声が聞こえてきました。今朝の荒川はとてもおだやかでした。 ・種類、個体数とも多く、ユリカモメの集団も確認できました。 ・ハクセキレイ3羽、親子のようでした。2羽は小さく、尾羽が短かったです。ヒヨドリの幼鳥1羽見かけました。	Ｂブロック
10	キジバト スズメ ヒヨドリ アオサギ	・午前6時30分、神明住区センター正面で住区祭りの表示を一瞥して野鳥観察に入る。早速キジバト、スズメ、ヒヨドリを神明コミュニティ広場で確認。その後、おなじみの野鳥を1～2羽の少数ずつ確認。 ・午前7時25分、アオサギが綾瀬川上空を南から北方向へ飛んでいく。このあたりに来るとカラスを確認できるはずだが、今日は鳴き声だけで識別は出来ない。 ・午前8時30分、神明コミュニティ広場では住区祭りの準備が進められていた。	Ｅブロック
13	トビ カモメ	・モニターになって10年以上ですが、初めてトビ、カモメと出会いました。	Ｂブロック
16	ツグミ シメ マガモ ハシビロガモ ジョウビタキ カワセミ オオタカ	・今朝は絶好の調査、観察日よりです。 ・やわらかな太陽の光がさんさんと振りそそぎ、風はなく空気は穏かに頬にやさしく感じます。 ・ケヤキやナンキンハゼの葉も色づき、晩秋から初冬へ季節の変り目です。 ・冬鳥が飛来し27種を観察、調査が出来、ラッキーな日でした。 ・今年はツグミが早くから来ています。まとまった数がバードサンクチュアリ内で見られました。又、シメも2ヶ所で見られ、大池には、舎人公園では希薄のマガモ、ハシビロガモ等が渡りの途中、羽根を休めたのでしょう。 ・他にもジョウビタキやカワセミ、オオタカなど観察が出来ました。 ・この冬は多くの野鳥が観察出来そうです。	Ｃブロック
16	ヒヨドリ ムクドリ シジュウカラ	・快晴の朝です。ヒヨドリが元気に飛びかい、幼鳥を連れて芝をついばむムクドリ達の西新井公園での光景です。 ・この時期見られるオナガの姿はなく、代わりにシジュウカラに出会えました。	Ｄブロック
17	オナガ ハシブトガラス	・オナガの群れが、ハシブトガラスを追いかけていました。ハシブトガラスも、群でこられると弱いようです。	Ｄブロック

令和元年11月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
17		・カワラヒワとモズの鳴き声が聞こえたはずだが、鳴き声による同定に自信がないため、上記統計上は未計上。冬になる前にもっと勉強しておく予定のはずであったが、結局、何もせず冬を迎えてしまった。今からでも、精進しようと思う。	Eブロック
17	アオジ	・佐野の森が随分縮小された為か、近くの空地にアオジが2羽出てきていました。 （事務局より補足：佐野いこいの森は、平成31年1月中旬から令和元年12月下旬まで拡張工事が行われています）	Eブロック
18	チョウゲンボウ	・台風19号が通過して約一月たっても、荒川の河川敷はぬかるみとゴミの山です。多分グランドは暫くの間は使えないのではないかと思います。 ・少し風が強かったのですが、雲一つない快晴のもとで下弦の月を友とするモニターとなりました。 ・チョウゲンボウは江北橋上空で4羽のカラスと強風の中で空中戦をしていました。	Bブロック
19		・ドバトを合計91羽以上確認した。 ・曇り、北西の風力2。 ・台風19号の後初めて河川敷に降りたが、いたるところ土砂が10㎝深さぐらいで覆っていた。ゴミも相変わらずで、これらのあふれたゴミはこのままいつか海へと流れていくに任せるのだろうなと思った。	Aブロック
19	ツグミ メジロ ヒヨドリ シジュウカラ	・ツグミが見られました。住宅のアンテナにとまっていました。 ・メジロ、ヒヨドリ、シジュウカラなどが前回より増えました。	Bブロック
20	オナガ ハシボソガラス	・北風が吹き、影が長くなった快晴の空の下、落ち葉が走っています。 ・オナガの姿をあちこちで見かけます。集団でハシボソガラスを威嚇していた。	Dブロック
21	ヒヨドリ ツグミ ユリカモメ	・千草園では、けたたましいヒヨドリの鳴き声を聞いていたら、1羽のツグミが飛んできた。 ・久し振りに荒川右岸河川敷にユリカモメ20羽を確認した。	Aブロック
21	ツグミ ヒヨドリ	・いつも観察できるオナガが今日は見当たらなかった。 ・昨年見られなかったツグミを見ることができた。 ・ヒヨドリの数が多くなってきた。	Bブロック

令和元年11月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者 （敬称略）
22	コガモ オオバン ハシビロガモ カイツブリ キセキレイ カワセミ ウグイス	・観察時間が干潮となる日程を選んで観察を始めましたが、途中から雨が降り出す天気となりました。 ・毛長川では5月から氾濫対策の工事をしていますが、冬場に来る野鳥としてコガモ、オオバン、ハシビロガモ等を観察できました。 ・コガモの数は昨年11月の観察（28羽）より少なく11羽でした。 ・ハシビロガモは1羽の観察でしたが、近くでカイツブリが餌を探しながら潜っていました。 ・珍しいキセキレイを今シーズンも観察出来ました。 ・カワセミは水に飛び込み小魚を捕獲していました。 ・川辺の葦原で地鳴きを聞いたので注意深く観察しているとウグイスを確認出来ました。	Ｃブロック
26	オナガガモ	・急に気温が下がり寒い朝、落葉の絨毯はきれいでした。 ・オナガガモは半分以上丘に上がって居た。「餌をあげないで下さい」との看板があり、餌が無くウロウロしていた。 ・公園なのに鳥が少なく残念でした。	Ｅブロック
29	ホシハジロ キンクロハジロ ユリカモメ	・観察予定日が雨模様で本日になりました。急に寒くなり、結果的に観察時間が長くなってしまいました。ひとつは手がかじかんで記録を取るのがむずかしく（ペンが落ちました）、もうひとつは寝ているカモが多数のため図鑑を見ながら識別することにしましたが、指の感覚がなく頁をめくりにくかったからです。ようやく冬到来と自覚しました。 ・担当するようになってホシハジロとキンクロハジロがこれほど多いのははじめてでした。また京成線鉄橋下はこの季節カモやユリカモメが押し寄せますが、対岸の三河島水再生センター側の放水路から広がる分布ですので、排水が温かいのかもしれません。寝ているキンクロハジロのエクリプス識別に手間取りました。不明個体を撮影しまして、帰宅後あらためて確認できました。	Ａブロック
29	ヒヨドリ トビ	・公園に来るとエンジュの樹に数珠状にくびれた豆果が下がり、ヒヨドリが多数集まって採食していた。10月12日、台風19号以来の荒川はどうなっているのか、気にかけながら進むと、いつも挨拶してくれた管理人さんも小屋もない。前方には、かって苗木のように細かったムクノキがしっかりと根を広げ堂々と立っていた。江北橋の橋脚に増水した跡が残っている。上空を見ると、ここでは珍しくトビが翼を大きく広げゆったりと飛んでいた。 ・隅田川は岩淵水門が閉鎖され下流域は守られた。台風・地震・災害・避難勧告と不安は続く。 ・イノシシも住みかを失ったのか、江北橋付近の荒川河川敷を逃げまわっていたとか。	Ａブロック
30	ヒヨドリ	・ようやく寒くなり始め、冬に強い鳥たちも賑やかになってきた感じがしました。ヒヨドリたちの鳴き声も活発になり、これから冬鳥たちの姿を期待したいです。	Ｃブロック
30	オオバン	・寒くなってきたのでいつもの瀬崎体育館横にオオバンがやってきていた。	Ｄブロック

令和元年11月（観察記録）

観察日	種　　名	観 察 記 録	観察者（敬称略）
30		・聞きなれない鳴き声に空を見上げると、明らかに首の長い白く大きな鳥が2羽飛んでいた。ここ一帯で見たことはなかったので、迷い込んできたものと思われるが、サギの仲間だった。Uターンして遠くに行ってしまい、種類はわからず。	Cブロック
30	キンクロハジロ コゲラ	・晴天、やや風強く鴨の群は新芝川の水門近くで風を避けていた。 ・10月の台風等荒天の影響で、荒川左岸に係留していた釣船が新芝川に移されたり、土手にも爪跡が残る。 ・新芝川のキンクロハジロ、都市農業公園のコゲラを久しく観察した。	Cブロック
30	ツグミ ヒヨドリ スズメ ウグイス	・悪天候が続き、11月最終日の観察になりました。霜で公園の草が白くなり、真冬の寒さでした。 ・「ツグミ」は、今期初でしたが、1羽のみ。「ヒヨドリ祭り」の如く、ヒヨドリばかりで、「スズメ」の少なさが気になりました。 ・「ウグイス」は、地鳴きを数ヶ所で聞いたが、姿を見たのは1羽だけでした。	Dブロック
30		・朝の冷え込みは厳しいものがあったが、風もなく青空が広がる好い天気の日、ドウダン、ニシキギなどの紅葉が見事である。	Dブロック
30	シジュウカラ メジロ ヒヨドリ	・晴れ、気温低く5℃位、風はほとんどなし。 ・大谷田一丁目団地の公園の樹上で見かけたシジュウカラとメジロは8羽位の混群のようでした。 ・とにかくどこでもヒヨドリの声が聞こえ、たくさん見かけました。記録よりもう少しいたように思います。 ・スズメは大谷田一丁目団地4号棟付近、10号棟付近でそれぞれ1羽が鳴いているのが聞こえたのですが、姿は確認できなかったので記録しませんでした。前回たくさん見かけた大谷田一丁目団地の公園付近で全く見られなかったので不思議な気がしました。 ・大谷田一丁目団地の公園で女性に声をかけられ、「もうメジロは来ている？この辺り結構たくさんいるのよ」と言われました。	Eブロック
30	ツグミ	・柿の木にツグミが来ていた。冬を感じた一日でした。	Eブロック

《調査日外調査》

観察日	種　名	観察記録	観察者（敬称略）
8	チョウゲンボウ	・チョウゲンボウの幼鳥がテニスコートに入り、出口が解らなくてバタバタしていました。	Bブロック
9	ムクドリ	・幼鳥が親鳥に連れられて芝をついばんでいた。	Dブロック

令和2年1月（観察記録）

観察日	種　　名	観察記録	観察者（敬称略）
4	キジバト	・早朝、寒くないことはないが以前より暖かいような気がする。千住東町ではいつもスズメがいる街路樹にも街なかにも全く鳥の姿がない。ようやく順調に見られるようになったのは千住曙町に入ってから。 ・旧綾瀬川や隅田川にはある程度の水鳥がいてくれてホッとした。 ・千住関屋町ではキジバトが4羽まとまって電線にとまっていた。採餌以外のときに4羽も一緒にいるのは多分初めて見たと思う。	Aブロック
4	ホシハジロ キンクロハジロ	・昨年迄多く見られたヒドリガモは一羽も見られず、替わりに、ホシハジロ、キンクロハジロが多く見られた。（新芝川） ・荒川左岸の河川敷は台風19号後の荒れた状態がまだ回復せず、鳥の数、種類もずいぶん減っている。	Cブロック
4	カルガモ	・日の出は51分と思って油断していたら、20分過ぎにすでに明るい。急いで準備して出る。風なく、良い観察日和。少し遅く出たせいか短時間で、種類多く出会えた気がする？ ・7:40　太陽がまぶしいが、日差しは暖かい。北寄りの風が吹いて来て涼味増す。桜・欅の葉が全て落ちた枝に止まる鳥は見つけ易く、その分、普段より時間が掛かってしまった。 ・1月2日、中川公園の隣の野球場で久しぶりに見たツグミを期待したが、残念ながら会えず。 ・カルガモは、年々増えているようだ。時間場所外だが、郷土博物館の池にも2羽浮いていた。	Eブロック
5		・水害で水があふれた地点（荒川）の工事箇所は、以前より鳥が少なく感じました。	Aブロック
5		・鳥の数がとても少なかった。また、種類もここ数年来最も少なかった。2020年17種、2019年21種、2018年20種、2017年26種。 ・昨年に続き、冬鳥のアオジ、ホオジロの姿が見られなかった。（2020年1月5日、鹿浜橋右岸）	Aブロック
5		・昨夜、雪が降った模様で、河川敷が濡れている。	Bブロック
5	オオバン コガモ ハシビロガモ メジロ シジュウカラ	・例年、この時期に毛長川の川底に堆積した汚泥を取り除く作業を実施しており、今シーズンは尾久橋通りから境川部屋前が対象で工事が始まり、野鳥が多く観察出来るエリアが縮小されている。 ・調査実施日は、年末年始の期間で工事が中断されている為か、工事エリアでもオオバンが4羽確認された。 ・コガモは工事エリアより上流で21羽を観察したが、昨年1月（26羽）より減少している。 ・ハシビロガモは新砂子路橋より上流で5羽を観察した。 ・メジロは多くの場所で観察できたが、川原の葦原ではシジュウカラと共に行動していた。	Cブロック
5	メジロ	・スーパーの周りにあるサザンカの花に、メジロが蜜を吸いに来た。	Eブロック

令和2年1月（観察記録）

観察日	種　　名	観察記録	観察者 （敬称略）
6	トビ チョウゲンボウ イソヒヨドリ	・晴れ、風弱し、約2℃ ・1月3日（金）荒川河川敷午前中、トビ、チョウゲンボウ ・1月1日（水）～3日（金）河川敷でイソヒヨドリ♂、3日（金）には梅田三丁目でイソヒヨドリ♀を見ました。	Aブロック
9		・数日悪天候でしたが、今朝は快晴、気持ち良く歩けました。	Dブロック
9	スズメ	・最近、鳥数も種類もめっきり少なくなったが、今日はスズメも少なかった。	Eブロック
11	ヒヨドリ スズメ ホオジロ	・6時35分、今にも降りそうな空模様なのか、まだうす暗い。鳥の姿はもちろん、鳴き声さえ聞こえない。10分ほどゆっくり歩いていて、後ろからヒヨドリが鳴き飛びさると、ようやくスズメの声が聞こえてきた。 ・何年ぶりだろうか、ホオジロ3羽が河川敷に飛来していた。	Aブロック
11	オカヨシガモ	・ネコがいて、葦の生えている所をうろうろしていた。この日だけで4匹見かけた。葦原に生息する野鳥への影響が考えられる。 ・西新井橋と扇大橋の中間位の、川の中にある杭の上にオカヨシガモの雄が止まっていた。	Bブロック
11	ヒドリガモ ホシハジロ カンムリカイツブリ	・今日の中川は、ヒドリガモの群、ホシハジロ、カンムリカイツブリ等、たくさんの水鳥が見られました。 ・私のエリア外では、スズガモ2羽も見つけました。自分の所に入れられなかったのが残念！	Eブロック
11	メジロ スズメ カワウ キンクロハジロ ジョウビタキ	・午前7時15分、神明南公園のイチョウの木に小鳥集団を発見し、スズメ40羽を確認。隣の耕地にメジロ1羽。 ・午前7時30分、綾瀬川上空を西方向に向かうカワウ1羽を確認。 ・午前7時50分、花畑川にキンクロハジロ9羽確認。 ・午前8時15分、神明南ふれあい公園にスズメ13羽、その近くにジョウビタキのメス1羽がベンチの上や地面上を飛び回っている。 ・午前9時、調査時間が早く過ぎ神明コミュニティ広場ではゲートボールの準備が始まっていた。	Eブロック
12		・満潮らしく川の水位は高く、干潟の鳥が見られなくて残念です。昨年10月の台風19号の洪水以来河川敷は荒れた状態でしたが、オニグルミやトウネズミモチなどの河畔林が上流側から皆伐されて西新井橋まで近づいていました。 ・伐採後は重機が入り河川敷がどういう形になるのかわかりませんが、これから作業に入るようです。今までと変わった環境になるのは確実のようで不安ですが、治水のためには仕方ないですね。	Aブロック
12	ユリカモメ	・どんよりした天気。荒川沿岸は枯れ萱が積み重なって荒れた状況。河川敷のグラウンドは冠水の跡の整備中で人影が少ない。例年よりユリカモメが少なく、千住新橋脇のワンドにもサギの仲間は見られなかった。	Bブロック

令和2年1月（観察記録）

観察日	種　　名	観察記録	観察者 （敬称略）
12	ハシブトガラス キジバト ツグミ ムクドリ オナガガモ ユリカモメ コガモ タシギ	・今朝は曇り空です。東と南の空には、うろこ雲が見事に模様を描いています。遠い北の空には晴れ間が見られますが、わが調査地には太陽の光がありません。 ・私が調査に出発する場所にハシブトガラスが住んでいるようです。以前にも記しましたが、体が不自由ですが長生きをしています。今朝は低木の木にいました。段々顔なじみになってきました。 ・地に目をやると、落ち葉にうっすら霜が降りていますが、それほど寒くありません。 ・キジバト、ツグミが各所で見られましたが、ムクドリの集団が見られません。 ・大池は全体的に水鳥が少なく感じます。それはオナガガモが見られないからだと思いました。毎年この時季ですと数拾羽は来るのですが、今朝の調査では1羽を確認しましたが、何となく元気のない姿でした。 ・ユリカモメが舞い上がると池の周りはにぎやかになりますが、餌やりの人が現れたからです。 ・ヨシの中にコガモらしい姿があり、確認のため暫く観察をしていると、タシギが現れました。そろそろ終了と思っていたところに1種加わりました。	Ｃブロック
13	ムクドリ スズメ モズ ツグミ	・穏かな日差しを浴びて満開のセイタカアワダチソウが映えていました。 ・可愛らしいムクドリは10羽あまりで、スズメ達と行動していました。 ・土手の下にモズとツグミが並んでいましたが、急にモズはツグミを追っかけました。暫くしてモズは土手上の杭に止まっていましたが、桜の木に止まっているツグミを再び追いかけました。最後の江北橋に着いた時ツグミは1羽のままでいました。ツグミに会えてホッとしました。	Ｂブロック
13	メジロ ハクセキレイ	・メジロがいつもより多数見られた。 ・ハクセキレイも道路に4羽見られたのも良かった。	Ｄブロック
13	スズメ メジロ ホオジロ	・快晴の朝です。今日のスズメ達は電線から立ち木へと元気に飛び交っています。 ・西公園では毎年出会うジョウビタキの替わりにメジロに出会え、ベルモント公園の芝生上ではホオジロを囲むスズメ達の光景を見ました。 ・然し、鳥の数、種類共に少ない朝でした。	Ｄブロック
13		・曇りのち晴れ、風はほとんどなし。中川の水量は多め。 ・大谷田一丁目団地公園内樹上からコゲラの声が聞こえたのですが、見つけられず残念でした。 ・中川付近に水鳥が増えましたが、水鳥の識別は苦手なので困りました。 ・上空を飛ぶ鳥はお腹しか見えないことも多く、逆光だと色もよく分からなかったりして、難しいです。	Ｅブロック

令和2年1月（観察記録）

観察日	種　　名	観察記録	観察者 （敬称略）
13	カワラヒワ ヒドリガモ スズガモ オオバン	・調査開始から暫くして、カワラヒワが電線に6羽留まっているのを発見。順調な滑り出し。但し、カメラを用意している間に逃げられたのが残念。 ・東渕江庭園の中からウグイスかシロハラの鳴き声が聞こえるが、開館前のため確認できず、当然、未計上。今年度過去4回の中川の状況とは打って変わって、相当数の水鳥（ほとんどはヒドリガモ）が出現。トイレに行きたいのを我慢しながら調査（この付近にはトイレがないのだ！）。その中で、なぜかスズガモが一羽、オオバンの横にいるのに驚く。 ・今年度、一番、充実した調査日和であった。	Ｅブロック
14		・1月と言うのに春を思わせるのどかなモニターとなりました。冬はどこにいったのでしょうか？ ・今回の特記事項はスズメがいつもならかなりの数が観察されるのにモニター区域内に1羽もいなかったことです。その他にも、常連のモズ、ジョウビタキ、シジュウカラ、タヒバリも観察出来ませんでした。 ・今回うれしかった事は、河川敷の出水で心配していたモグラの新しい塚を見つけたことです。モグラは地上も歩けるし、意外と泳ぎも出来るとの事なのでなんとか生き延びてくれた様です。	Ｂブロック
14	オナガガモ ヒドリガモ ハシボソガラス	・スズメとカルガモが居なかったので驚いた。 ・オナガガモとヒドリガモが混じっていた。今迄なかった事なので何があったんだろうと思った。 ・ハシボソガラスが電柱の上から咥えたものを落とした。割るつもりだったのか、骨だった。	Ｅブロック
17	ヒヨドリ ワカケホンセイインコ	・12種類確認。大きな成果。気温が低いため、いつもダンディーなヒヨドリが着膨れして、まるく見えました。 ・野鳥外でワカケホンセイインコの群れを確認しました。群れは初めてです。	Ｄブロック
17	スズメ	・確認種は7種でしたが、まずまずの成果です。スズメの群れが目立ちましたが。餌のある場所が限られているせいでしょうか？	Ｄブロック
19	メジロ	・冬は落葉樹に止まる小さな鳥が見えて楽しい。 ・椿が満開の木が多く、花をつつくメジロがたくさん見られた。 ・大きな落葉樹の上部に空き巣らしい巣があるのをいくつも見つけた。大きかったのでカラスの巣か？今後も気をつけて観察してみたい。	Ｃブロック
19	メジロ ツグミ	・季節を感じる鳥、メジロ、ツグミの出会いは嬉しい。 ・唯一の水場、毛長川に水鳥がいなくなった。	Ｄブロック

令和2年1月（観察記録）

観察日	種　　名	観察記録	観察者（敬称略）
20	アオサギ キンクロハジロ ホシハジロ ヒドリガモ コガモ	・昨年3月から、隅田川左岸（豊島橋下流）防潮堤耐震工事が続いている。侵入禁止が数か所ありカモ達に近づくことは出来ない。 ・工事に気を使い行きつ戻りつしながら望遠鏡を使って調査すること1年になるが、間もなく工事は終了する。 ・今アオサギは護岸に立ち水面をじっと見つめている。キンクロハジロ、ホシハジロ、ヒドリガモ、コガモ達は思いのままに自由に泳いでいる。	Aブロック
20	メジロ	・晴れていましたが、北風が強い日でした。 ・メジロが多く見られました。例年ジョウビタキやツグミは住宅街でも見られるのですが、今回は確認できませんでした。	Bブロック
20	ヒヨドリ シロハラ	・天気は良かったが、鳥の種類、数とも少なかった。 ・ヒヨドリが食べ物が少なくなってきたせいか、群れて家庭菜園のブロッコリーの葉を食べていた。 ・シロハラを初めて調査地域内で見られ、感動した。（自宅庭）	Bブロック
24	モズ	・モズが藪の中で警戒する声で鳴いていた。	Aブロック
24		・暖かい朝だった。鳥は少なく寂しい結果となった。	Eブロック
25	ユリカモメ カワウ イソヒヨドリ スズガモ	・手が痛い朝でした。日の出後に開始しましたが、曇天で暗い朝でした。しばらくして快晴となりました。風もなく、いつもより種類・個体数とも多い印象でした。 ・また京成線鉄橋下にユリカモメやカモが非常に多く、今回特記事項に項目を立てました。11月に報告しましたが対岸の水再生センター側の排水温のためと思います。寒い季節が終わってしまうと鉄橋下の野鳥は姿を消しますので項目も削除することになるでしょう。 ・スポーツ公園から墨田川方面を見た際に数十羽のカワウが下流に向かって行くのを目にしました（数百メートル距離があったので記録には入れておりませんがすごい群れだなあと思った次第です）。 ・現在の青葉中学プレハブ仮校舎付近でイソヒヨドリのメスを見ることができました。人が来てもあまり逃げない様子でした。 ・千住大橋付近では4羽のスズガモが前後になり潜りながら下流に向かっていきました。	Aブロック
26	シジュウカラ コゲラ バン ツグミ メジロ	・毛長川の遊歩道の木々にシジュウカラと一緒にコゲラがいました。その毛長川に1羽だけバンがいたのが、とても印象的でした。 ・公園にはツグミもおり、住宅地ではお庭に咲いている花の蜜を吸いにメジロたちが賑やかにいました。 ・いつも賑やかな神社では、鳥も少なく寂しい感じがありました。	Cブロック
30		・冬らしい鳥種も見かけましたが、以前は鳥たちがよく集まっていた公園に鳥が集まらなくなってきた等変化も感じます。	Dブロック

資料編

資料１

令和元年度 野鳥モニター名簿・担当地域（五十音順・敬称略）

No.	氏　名	担当地域	
1		E	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
2		A	宮城全域（河川敷含む）
3		D	保木間一～三丁目
4		E	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
5		B	興野二丁目、扇三丁目
6		E	東和全域・谷中公園
7		A	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
8		A	小台全域（河川敷含む）
9		D	梅島一～三丁目
10		D	花畑三～五丁目
11		E	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
12		D	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
13		E	神明一～三丁目、六木三・四丁目（垳川、中川含む）
14		E	大谷田一丁目
15		E	大谷田二丁目（中川含む）～五丁目
16		B	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
17		B	鹿浜橋～熊の木（荒川左岸河川敷）
18		C	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
19		C	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
20		B	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
21		B	西新井橋～千住新橋（荒川左岸河川敷）

No.	氏　名	担当地域	
22		A	西新井橋～千住新橋（荒川右岸河川敷）
23		A	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
24		D	西保木間一～三丁目
25		D	保木間四・五丁目
26		A	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
27		C	西竹の塚二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）、伊興本町一・二丁目
28		C	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
29		A	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
30		C	舎人公園
31		A	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
32		A	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
33		E	東綾瀬公園
34		E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
35		E	神明南一・二丁目、北加平町
36		B	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
37		D	島根全域
38		B	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
39		D	西綾瀬全域
40		B	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）

資料２　調査月別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	５月	７月	９月	11月	１月	３月	合計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	0	0	0	1		1
2			ヒドリガモ	0	0	0	83	446		529
3			マガモ	0	0	0	35	1		36
4			カルガモ	108	131	116	181	130		666
5			ハシビロガモ	0	0	0	3	5		8
6			オナガガモ	0	0	0	43	42		85
7			コガモ	5	0	0	34	73		112
8			ホシハジロ	0	0	0	95	81		176
9			キンクロハジロ	1	0	0	89	85		175
10			スズガモ	0	0	0	1	6		7
11	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	4	4	4	5	7		24
12			カンムリカイツブリ	0	0	0	4	14		18
13			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	1		1
14	ハト	ハト	キジバト	133	115	104	69	148		569
15	カツオドリ	ウ	カワウ	64	49	36	82	182		413
16	ペリカン	サギ	ゴイサギ	0	3	1	2	0		6
17			アオサギ	9	22	15	15	8		69
18			ダイサギ	4	7	14	11	2		38
19			コサギ	3	4	8	4	4		23
20	ツル	クイナ	クイナ	1	0	0	0	0		1
21			バン	14	5	3	10	11		43
22			オオバン	3	0	0	177	270		450
23	チドリ	チドリ	イカルチドリ	0	0	0	0	1		1
24			コチドリ	5	6	0	0	2		13
25		シギ	タシギ	0	0	0	0	1		1
26			クサシギ	0	0	0	1	0		1
27			イソシギ	6	5	15	12	8		46
28		カモメ	ユリカモメ	0	16	0	338	452		806
29			ウミネコ	6	47	3	3	8		67
30			カモメ	0	0	4	1	0		5
31			セグロカモメ	0	0	0	10	21		31
32			オオセグロカモメ	0	0	0	1	3		4
33			コアジサシ	3	2	0	0	0		5
34	タカ	タカ	トビ	0	0	0	3	0		3
35			ツミ	1	7	0	0	0		8
36			オオタカ	0	0	1	1	0		2
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	1	3	5	2	1		12
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	1	0	0	3	3		7
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	4	1	5	3	1		14
40	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	2	0	0	0	0		2
41		モズ	モズ	3	0	3	23	17		46
42		カラス	オナガ	222	245	199	174	111		951

N0	目名	科名	種名	５月	７月	９月	11月	１月	３月	合計
43	スズメ	カラス	ハシボソガラス	142	122	128	161	143		696
44			ハシブトガラス	168	169	169	170	173		849
45		シジュウカラ	ヒガラ	0	1	0	0	0		1
46			シジュウカラ	91	59	49	111	113		423
47		ヒバリ	ヒバリ	7	3	0	0	0		10
48		ツバメ	ツバメ	172	245	11	0	0		428
49			イワツバメ	6	0	0	0	0		6
50		ヒヨドリ	ヒヨドリ	119	82	154	1,201	505		2,061
51		ウグイス	ウグイス	1	0	0	14	7		22
52		エナガ	エナガ	0	6	0	0	0		6
53		メジロ	メジロ	0	0	4	130	176		310
54		ヨシキリ	オオヨシキリ	15	12	0	0	0		27
55		セッカ	セッカ	8	6	0	0	0		14
56		ムクドリ	ムクドリ	1,310	1,361	1,313	829	812		5,625
57			コムクドリ	0	0	1	0	0		1
58		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	0	3		3
59			ツグミ	1	1	0	36	142		180
60			ジョウビタキ	0	0	0	12	5		17
61			イソヒヨドリ	0	2	0	1	2		5
62			キビタキ	0	0	2	0	0		2
63		スズメ	スズメ	1,428	1,558	1,535	1,512	1,664		7,697
64		セキレイ	キセキレイ	0	0	0	1	0		1
65			ハクセキレイ	32	22	35	126	129		344
66			セグロセキレイ	0	0	0	0	1		1
67			ビンズイ	0	0	0	0	6		6
68			タヒバリ	0	0	0	3	2		5
69		アトリ	カワラヒワ	65	24	14	61	81		245
70			シメ	0	0	0	5	3		8
71		ホオジロ	ホオジロ	0	0	2	0	5		7
72			アオジ	0	0	0	8	10		18
73			オオジュリン	0	0	0	3	32		35
種名特定できず			カモＳＰ	0	0	0	2	22		24
			サギＳＰ	0	0	0	2	0		2
			シギＳＰ	4	0	0	0	0		4
			カモメＳＰ	0	0	0	4	0		4
			カラスＳＰ	1	6	5	1	17		30
			ホオジロＳＰ	0	0	0	4	0		4
確認種個体数合計（羽）				4,173	4,351	3,958	5,915	6,199		24,596

(参考)かごぬけ	ワカケホンセイインコ	10	6	3	3	7		29
	ドバト	165	111	531	864	923		2,594

資料３　ブロック別確認種と個体数

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	1	0	0	0	1
2			ヒドリガモ	139	2	83	0	305	529
3			マガモ	29	1	6	0	0	36
4			カルガモ	112	14	275	61	204	666
5			ハシビロガモ	0	0	8	0	0	8
6			オナガガモ	0	0	4	0	81	85
7			コガモ	20	56	36	0	0	112
8			ホシハジロ	66	19	62	0	29	176
9			キンクロハジロ	119	16	25	0	15	175
10			スズガモ	6	0	0	0	1	7
11	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	0	2	22	0	0	24
12			カンムリカイツブリ	6	2	0	0	10	18
13			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	1	1
14	ハト	ハト	キジバト	101	47	146	122	153	569
15	カツオドリ	ウ	カワウ	146	169	25	5	68	413
16	ペリカン	サギ	ゴイサギ	2	3	1	0	0	6
17			アオサギ	23	25	12	0	9	69
18			ダイサギ	17	10	3	0	8	38
19			コサギ	6	10	6	1	0	23
20	ツル	クイナ	クイナ	0	0	1	0	0	1
21			バン	2	2	39	0	0	43
22			オオバン	226	31	116	5	72	450
23	チドリ	チドリ	イカルチドリ	1	0	0	0	0	1
24			コチドリ	11	0	0	0	2	13
25		シギ	タシギ	0	0	1	0	0	1
26			クサシギ	1	0	0	0	0	1
27			イソシギ	21	24	1	0	0	46
28		カモメ	ユリカモメ	427	162	53	0	164	806
29			ウミネコ	55	8	0	0	4	67
30			カモメ	4	1	0	0	0	5
31			セグロカモメ	23	4	2	0	2	31
32			オオセグロカモメ	0	4	0	0	0	4
33			コアジサシ	1	0	0	0	4	5
34	タカ	タカ	トビ	1	2	0	0	0	3
35			ツミ	0	0	2	0	6	8
36			オオタカ	0	0	2	0	0	2
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	2	0	8	1	1	12
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	0	0	6	0	1	7
39	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	12	2	0	0	0	14
40	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	2	0	0	2
41		モズ	モズ	19	21	5	1	0	46
42		カラス	オナガ	95	63	229	325	239	951
43			ハシボソガラス	148	100	217	96	135	696

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
44	スズメ	カラス	ハシブトガラス	112	144	139	151	303	849
45		シジュウカラ	ヒガラ	0	0	1	0	0	1
46			シジュウカラ	45	42	167	78	91	423
47		ヒバリ	ヒバリ	10	0	0	0	0	10
48		ツバメ	ツバメ	197	94	25	12	100	428
49			イワツバメ	6	0	0	0	0	6
50		ヒヨドリ	ヒヨドリ	359	297	368	501	536	2,061
51		ウグイス	ウグイス	2	10	3	2	5	22
52		エナガ	エナガ	0	0	6	0	0	6
53		メジロ	メジロ	53	58	85	48	66	310
54		ヨシキリ	オオヨシキリ	15	12	0	0	0	27
55		セッカ	セッカ	9	5	0	0	0	14
56		ムクドリ	ムクドリ	1,673	1,016	779	953	1,204	5,625
57			コムクドリ	0	0	0	0	1	1
58		ヒタキ	シロハラ	0	1	2	0	0	3
59			ツグミ	44	56	41	16	23	180
60			ジョウビタキ	5	2	4	4	2	17
61			イソヒヨドリ	4	1	0	0	0	5
62			キビタキ	0	0	0	0	2	2
63		スズメ	スズメ	2,203	1,105	800	1,661	1,928	7,697
64		セキレイ	キセキレイ	0	0	1	0	0	1
65			ハクセキレイ	131	69	47	40	57	344
66			セグロセキレイ	0	0	0	0	1	1
67			ビンズイ	6	0	0	0	0	6
68			タヒバリ	3	2	0	0	0	5
69		アトリ	カワラヒワ	93	46	64	21	21	245
70			シメ	0	0	8	0	0	8
71		ホオジロ	ホオジロ	3	2	0	2	0	7
72			アオジ	2	11	0	0	5	18
73			オオジュリン	24	11	0	0	0	35
種名特定できず			カモＳＰ	24	0	0	0	0	24
			サギＳＰ	0	0	2	0	0	2
			シギＳＰ	4	0	0	0	0	4
			カモメＳＰ	3	0	0	1	0	4
			カラスＳＰ	30	0	0	0	0	30
			ホオジロＳＰ	4	0	0	0	0	4
確認種個体数合計（羽）				6,905	3,785	3,940	4,107	5,859	24,596

(参考)かごぬけ	ワカケホンセイインコ	0	0	19	10	0	29
	ドバト	600	737	408	346	503	2,594

資料４　令和元年5月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	4	0	5	0	0	5	4	0	9
2	イソシギ	4	2	0	0	0	6	0	0	6
3	イワツバメ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
4	ウグイス	1	0	0	0	0	0	0	1	1
5	ウミネコ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
6	オオバン	1	1	0	0	1	3	0	0	3
7	オオヨシキリ	7	8	0	0	0	15	0	0	15
8	オナガ	18	21	64	67	52	8	85	129	222
9	カイツブリ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
10	カルガモ	19	5	28	22	34	43	63	2	108
11	カワウ	21	29	5	1	8	58	4	2	64
12	カワセミ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
13	カワラヒワ	27	13	19	2	4	41	9	15	65
14	キジバト	33	13	29	29	29	25	44	64	133
15	キンクロハジロ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
16	クイナ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
17	コアジサシ	1	0	0	0	2	3	0	0	3
18	コガモ	0	3	2	0	0	5	0	0	5
19	コゲラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
20	コサギ	1	1	1	0	0	3	0	0	3
21	コチドリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
22	サンショウクイ	0	0	2	0	0	0	0	2	2
23	シジュウカラ	4	9	48	13	17	17	54	20	91
24	スズメ	414	224	147	365	278	232	536	660	1,428
25	セッカ	7	1	0	0	0	8	0	0	8
26	ダイサギ	1	0	0	0	3	1	0	3	4
27	チョウゲンボウ	3	1	0	0	0	3	1	0	4
28	ツグミ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
29	ツバメ	67	35	14	5	51	109	10	53	172
30	ツミ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
31	ハクセキレイ	17	5	0	3	7	19	5	8	32
32	ハシブトガラス	30	22	18	38	60	29	39	100	168
33	ハシボソガラス	29	19	44	28	22	41	62	39	142
34	バン	2	0	12	0	0	2	12	0	14
35	ヒバリ	7	0	0	0	0	7	0	0	7
36	ヒヨドリ	35	26	20	16	22	30	47	42	119
37	ムクドリ	381	274	179	264	212	567	439	304	1,310
38	モズ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
	合計	1,153	715	645	853	802	1,303	1,420	1,445	4,168
＊	カラスＳＰ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
＊	シギＳＰ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
	総合計	1,158	715	645	853	802	1,308	1,420	1,445	4,173
参考	ワカケホンセイインコ	0	0	3	0	0	0	0	3	3
	ドバト	15	141	140	117	118	122	281	128	531

資料５　令和元年7月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	13	2	0	2	20	1	1	22
2	イソシギ	1	4	0	0	0	5	0	0	5
3	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
4	ウミネコ	45	1	0	0	1	43	1	3	47
5	エナガ	0	0	6	0	0	0	6	0	6
6	オオヨシキリ	8	4	0	0	0	12	0	0	12
7	オナガ	12	13	67	101	52	7	124	114	245
8	カイツブリ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
9	カルガモ	17	1	82	0	31	59	72	0	131
10	カワウ	18	25	2	1	3	48	1	0	49
11	カワセミ	2	0	1	0	0	3	0	0	3
12	カワラヒワ	9	3	6	5	1	5	13	6	24
13	キジバト	18	12	34	21	30	10	53	52	115
14	コアジサシ	0	0	0	0	2	2	0	0	2
15	ゴイサギ	2	0	1	0	0	3	0	0	3
16	コサギ	1	2	1	0	0	4	0	0	4
17	コチドリ	4	0	0	0	2	4	2	0	6
18	シジュウカラ	14	4	17	10	14	10	31	18	59
19	スズメ	522	186	143	321	386	349	504	705	1558
20	セッカ	2	4	0	0	0	6	0	0	6
21	ダイサギ	2	2	2	0	1	7	0	0	7
22	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
23	ツグミ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
24	ツバメ	125	53	11	7	49	128	14	103	245
25	ツミ	0	0	1	0	6	0	7	0	7
26	ハクセキレイ	6	10	1	2	3	15	1	6	22
27	ハシブトガラス	20	15	27	32	75	41	60	68	169
28	ハシボソガラス	17	25	37	16	27	34	43	45	122
29	バン	0	0	5	0	0	0	5	0	5
30	ヒガラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
31	ヒバリ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
32	ヒヨドリ	8	22	18	20	14	14	26	42	82
33	ムクドリ	340	226	263	205	327	527	581	253	1361
34	ユリカモメ	0	16	0	0	0	16	0	0	16
	合計	1,204	641	732	742	1,026	1,378	1,551	1,416	4,345
＊	カラスＳＰ	6	0	0	0	0	5	0	1	6
	総合計	1,210	641	732	742	1,026	1,383	1,551	1,417	4,351

参考	ワカケホンセイインコ	0	0	6	0	0	0	0	6	6
	ドバト	38	34	0	27	12	34	56	21	111

資料６　令和元年9月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	8	1	0	3	14	1	0	15
2	イソシギ	6	8	1	0	0	15	0	0	15
3	ウミネコ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
4	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
5	オナガ	33	29	48	54	35	20	115	64	199
6	カイツブリ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
7	カモメ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
8	カルガモ	13	8	47	5	43	60	53	3	116
9	カワウ	6	23	1	1	5	35	0	1	36
10	カワセミ	0	0	4	1	0	2	3	0	5
11	カワラヒワ	6	6	2	0	0	6	5	3	14
12	キジバト	24	5	19	22	34	6	48	50	104
13	キビタキ	0	0	0	0	2	0	2	0	2
14	ゴイサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
15	コサギ	1	5	2	0	0	8	0	0	8
16	コムクドリ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
17	シジュウカラ	6	9	14	11	9	6	26	17	49
18	スズメ	473	359	79	261	363	501	428	606	1,535
19	ダイサギ	9	4	1	0	0	14	0	0	14
20	チョウゲンボウ	5	0	0	0	0	3	2	0	5
21	ツバメ	5	6	0	0	0	11	0	0	11
22	ハクセキレイ	15	11	2	3	4	23	6	6	35
23	ハシブトガラス	26	32	21	36	54	39	57	73	169
24	ハシボソガラス	40	4	48	14	22	38	48	42	128
25	バン	0	0	3	0	0	0	3	0	3
26	ヒヨドリ	25	13	31	20	65	20	57	77	154
27	ホオジロ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
28	ムクドリ	476	195	150	193	299	441	679	193	1,313
29	メジロ	0	0	0	0	4	0	4	0	4
30	モズ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
	合計	1,182	728	479	621	943	1,275	1,542	1,136	3,953
＊	カラスＳＰ	5	0	0	0	0	1	1	3	5
	総合計	1,187	728	479	621	943	1,276	1,543	1,139	3,958

参考	ワカケホンセイインコ	0	0	3	0	0	0	0	3	3
	ドバト	15	141	140	117	118	122	281	128	531

資料７　令和元年11月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	8	1	2	0	4	14	1	0	15
2	アオジ	1	2	0	0	5	3	0	5	8
3	イソシギ	5	7	0	0	0	12	0	0	12
4	イソヒヨドリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
5	ウグイス	1	7	1	1	4	8	2	4	14
6	ウミネコ	0	2	0	0	1	2	0	1	3
7	オオジュリン	3	0	0	0	0	3	0	0	3
8	オオセグロカモメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
9	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
10	オオバン	85	16	57	2	17	165	12	0	177
11	オナガ	22	0	43	57	52	8	55	111	174
12	オナガガモ	0	0	3	0	40	0	43	0	43
13	カイツブリ	0	1	4	0	0	2	3	0	5
14	カモメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
15	カルガモ	54	0	62	18	47	123	58	0	181
16	カワウ	21	45	10	0	6	78	3	1	82
17	カワセミ	0	0	2	0	0	1	1	0	2
18	カワラヒワ	21	24	10	5	1	38	19	4	61
19	カンムリカイツブ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
20	キジバト	9	6	16	19	19	1	31	37	69
21	キセキレイ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
22	キンクロハジロ	75	2	7	0	5	89	0	0	89
23	クサシギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
24	ゴイサギ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
25	コガモ	0	22	12	0	0	33	1	0	34
26	コゲラ	0	0	2	0	1	0	3	0	3
27	コサギ	1	2	1	0	0	4	0	0	4
28	シジュウカラ	9	11	38	16	37	8	65	38	111
29	シメ	0	0	5	0	0	0	5	0	5
30	ジョウビタキ	3	2	4	2	1	2	4	6	12
31	スズガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
32	スズメ	442	171	178	300	421	267	473	772	1,512
33	セグロカモメ	6	2	2	0	0	10	0	0	10
34	ダイサギ	5	3	0	0	3	11	0	0	11
35	タヒバリ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
36	チョウゲンボウ	2	1	0	0	0	2	0	1	3
37	ツグミ	6	6	13	3	8	3	18	15	36
38	トビ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
39	ハクセキレイ	42	23	18	15	28	59	26	41	126
40	ハシビロガモ	0	0	3	0	0	1	2	0	3
41	ハシブトガラス	23	42	35	18	52	36	47	87	170
42	ハシボソガラス	42	32	35	17	35	68	47	46	161
43	バン	0	2	8	0	0	3	7	0	10
44	ヒドリガモ	23	0	33	0	27	50	33	0	83
45	ヒヨドリ	200	124	209	348	320	157	508	536	1,201
46	ホシハジロ	58	0	23	0	14	95	0	0	95
47	マガモ	29	0	6	0	0	29	6	0	35
48	ムクドリ	247	177	98	127	180	276	260	293	829
49	メジロ	17	30	35	15	33	0	65	65	130
50	モズ	12	10	1	0	0	18	3	2	23
51	ユリカモメ	161	103	2	0	72	337	0	1	338
	合計	1,641	885	980	963	1,433	2,034	1,802	2,066	5,902
＊	カモＳＰ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
＊	カモメＳＰ	3	0	0	1	0	4	0	0	4
＊	カラスＳＰ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
＊	サギＳＰ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
＊	ホオジロＳＰ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
	総合計	1,651	885	982	964	1,433	2,045	1,804	2,066	5,915

参考	ワカケホンセイインコ	0	0	3	0	0	0	0	3	3
	ドバト	226	267	55	127	189	265	228	371	864

資料８　令和２年1月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	3	2	0	0	6	2	0	8
2	アオジ	1	9	0	0	0	7	0	3	10
3	イカルチドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
4	イソシギ	5	3	0	0	0	8	0	0	8
5	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	0	0	2	2
6	ウグイス	0	3	2	1	1	5	1	1	7
7	ウミネコ	1	5	0	0	2	8	0	0	8
8	オオジュリン	21	11	0	0	0	32	0	0	32
9	オオセグロカモメ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
10	オオバン	140	14	59	3	54	260	10	0	270
11	オカヨシガモ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
12	オナガ	10	0	7	46	48	8	50	53	111
13	オナガガモ	0	0	1	0	41	0	42	0	42
14	カイツブリ	0	1	6	0	0	2	5	0	7
15	カルガモ	9	0	56	16	49	62	68	0	130
16	カワウ	80	47	7	2	46	161	6	15	182
17	カワセミ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
18	カワラヒワ	30	0	27	9	15	29	40	12	81
19	カンムリカイツブリ	2	2	0	0	10	14	0	0	14
20	キジバト	17	11	48	31	41	9	79	60	148
21	キンクロハジロ	43	14	18	0	10	85	0	0	85
22	コガモ	20	31	22	0	0	72	1	0	73
23	コゲラ	0	0	3	0	0	1	2	0	3
24	コサギ	2	0	1	1	0	4	0	0	4
25	コチドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
26	シジュウカラ	12	9	50	28	14	19	60	34	113
27	シメ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
28	ジョウビタキ	2	0	0	2	1	0	4	1	5
29	シロハラ	0	1	2	0	0	0	2	1	3
30	スズガモ	5	0	0	0	1	6	0	0	6
31	スズメ	352	165	253	414	480	238	604	822	1,664
32	セグロカモメ	17	2	0	0	2	18	0	3	21
33	セグロセキレイ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
34	ダイサギ	0	1	0	0	1	1	0	1	2
35	タシギ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
36	タヒバリ	9	0	0	0	0	9	0	0	9
37	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
38	ツグミ	37	50	28	12	15	79	43	20	142
39	ハクセキレイ	51	20	26	17	15	61	40	28	129
40	ハシビロガモ	0	0	5	0	0	5	0	0	5
41	ハシブトガラス	13	33	38	27	62	23	62	88	173
42	ハシボソガラス	20	20	53	21	29	47	48	48	143
43	ハジロカイツブリ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
44	バン	0	0	11	0	0	2	9	0	11
45	ヒドリガモ	116	2	50	0	278	389	57	0	446
46	ヒヨドリ	91	112	90	97	115	95	178	232	505
47	ビンズイ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
48	ホオジロ	3	0	0	2	0	3	2	0	5
49	ホシハジロ	8	19	39	0	15	81	0	0	81
50	マガモ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
51	ムクドリ	229	144	89	164	186	314	278	220	812
52	メジロ	36	28	50	33	29	30	40	106	176
53	モズ	4	8	4	1	0	12	5	0	17
54	ユリカモメ	266	43	51	0	92	381	42	29	452
	合計	1,660	816	1,102	927	1,655	2,595	1,785	1,780	6,160
＊	カモＳＰ	22	0	0	0	0	22	0	0	22
＊	カラスＳＰ	17	0	0	0	0	14	0	3	17
	総合計	1,699	816	1,102	927	1,655	2,631	1,785	1,783	6,199

参考	ワカケホンセイインコ	0	0	0	7	0	0	0	7	7
	ドバト	229	279	196	49	170	299	293	331	923

資料9　年度別確認種及び個体数一覧

No	目　名	科　名	種　名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0	0	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
6			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51	39	63
8			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0	3	5
9			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568	932	1,511
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
11			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24	10	1
12			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077	1,176	763
13			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0	11	2
14			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608	508	275
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224	227	383
17			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
18			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340	177	176
19			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150	85	94
21			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4	0
*			カモＨ	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0
*			アメリカヒドリＨ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモＳＰ	0	0	0	0	31	46	0	9	87	6	1
*			ハクチョウＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19	4	12
23			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	2
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
*			カイツブリＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065	1,019	1,078
26			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075	1,325	1,716
*			ウＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1	0	3
30			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34	17	15
31			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3	1	4
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7	1	0
34			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75	95	72
35			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78	62	57
36			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0	3	1
37			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120	115	82
*			サギＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
39			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67	59	54
40			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9	13	32
41	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
42			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
*			カッコウＳＰ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
44	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
45			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0	0	0
46	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
47			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
48			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23	11	15
50			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0	1	0
51			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
*			チドリＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		シギ	タシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0	0	0

No	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	33	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0	0	0	2	5	1
8	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1,494	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727	875	923	593	698	529
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
11	3	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4	3	0	5	13	36
12	905	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687	852	563	707	803	666
13	18	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14	15	2	26	3	8
14	362	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355	326	279	212	178	85
15	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	348	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192	239	224	197	133	112
17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	208	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35	73	172	155	87	176
19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	89	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46	69	176	121	177	175
21	0	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0	0	1	1	0	7
*	0	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	2	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1	14	18	48	76	24
*	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
22	6	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7	15	6	20	47	24
23	0	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1	13	25	11	5	18
24	0	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0	0	0	0	0	1
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25	1,127	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615	739	710	638	746	569
26	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	1,679	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742	2,377	627	714	639	413
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
29	1	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30	11	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3	0	12	11	13	6
31	10	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
33	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
34	97	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78	90	93	78	94	69
35	73	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45	50	44	56	36	38
36	0	1	0	0	7	37	15	0	0	0	1	0	2	1	0	2	0
37	93	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37	51	81	75	44	23
*	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	2	0	0	0	2
38	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	2	0	2	1
39	115	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35	52	25	42	42	43
40	50	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466	431	679	692	628	450
41	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
42	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0
45	0	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20	0	4	0	0	0
46	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	1	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0	5	8	1	0	1
49	8	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6	6	2	11	6	13
50	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51	0	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6	4	0	0	18	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
52	0	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0	0	2	0	4	0
53	2	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6	0	2	1	2	1

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
54	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
55			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	3	2	2
59			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49	51	39
60			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
61			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809	9,297	7,376
64			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482	610	319
65			カモメ	0	26	13	28	4	53	6	8	12	0	0
66			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
67			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419	413	307
68			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	1	3	19	10
69			コアジサシ	9	0	56	46	75	163	64	29	34	81	21
70			アジサシ	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
*			カモメＳＰ	0	0	0	0	3	7	1	3	4	0	0
71	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
72		タカ	トビ	0	2	2	0	0	0	0	4	1	1	2
73			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
74			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
*			タカＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
75	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
77			コミミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0	0	0
78	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5	8	6
79	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14	12	21
80			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
81	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44	32	78
82			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
83	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
84		モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45	48	56
85		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
86			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557	545	630
87			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397	1,456	1,340
88			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910	3,899	3,725
*			カラスＳＰ	0	0	0	0	1	10	10	39	10	0	0
89		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0	0	0
90		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
91			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
92			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
93			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121	230	179
94		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180	193	197
95		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0
96			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391	711	492
97			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79	44	25
98		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008	3,245	3,213
99		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37	51	47
*			ウグイスＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
100		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
101		ムシクイ	メボソムシクイ	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
102			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
103		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223	436	545
104		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128	97	104
105			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
106		セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104	90	57
107		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0
108			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
109		ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566	6,728	6,913
110			コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0	71	0
111		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7	7	7

No	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	0	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5	3	2	4	0
56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58	6	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0	0	5	21	0
59	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60	80	110	47	46
60	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
61	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4	0	4
62	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63	6,200	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010	848	1,588	1,825	1,859	1,168	806
64	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121	20	14	17	67
65	2	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2	1	7	18	5
66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
67	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119	54	69	28	31
68	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1	3	0	1	4
69	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17	25	27	18	5
70	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60	14	0	6	4
71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
72	2	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2	0	1	1	3
73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	6	13	8
74	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2	1	0	1	2
*	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9	10	15	14	12
79	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21	22	18	10	7
80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
81	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10	11	19	12	14
82	4	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0	3	1	3	0
83		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
84	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68	83	73	61	46
85	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
86	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644	798	893	897	951
87	1,229	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965	842	975	946	893	879	696
88	3,936	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184	1,097	1,197	1,274	849
*	0	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22	22	5	16	30
89	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90	0	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0	0	0	0	0
91	4	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
92	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2	0	0	0	1
93	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585	612	657	575	423
94	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33	24	27	22	10
95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
96	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371	476	360	487	428
97	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55	36	28	14	27	6
98	3,435	2,646	2,863	3,415	2,665	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597	2,173	2,742	2,689	2,734	2,512	2,640	2,061
99	48	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20	28	21	26	14	22
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	1	0	6
101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
102	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
103	311	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568	366	477	367	327	310
104	80	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43	72	70	58	111	27
105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
106	53	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13	29	18	19	2	14
107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
108	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
109	7,024	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156	7,527	7,382	7,332	8,301	7,460	5,625
110	70	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9	4	30	4	0	1
111	1	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8	6	6	2	2	3

No	目　名	科　名	種　名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
112	スズメ	ヒタキ	アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4	4	4
113			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565	599	889
114			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
115			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45	67	90
116			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0	0	0
117			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0
118			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
119			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
120			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
121			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1	1	1
122			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0	2	0
123			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
＊			ヒタキＳＰ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
125		スズメ	ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
126			スズメ	3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487	15,329	18,003	18,171	18,821
127		セキレイ	キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
128			ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708	678	755
129			セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0	2	0
130			ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131			タヒバリ	0	1	39	40	52	30	5	1	10	14	5
132		アトリ	アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
133			カワラヒワ	256	552	566	455	822	506	429	463	554	748	907
134			マヒワ	0	0	2	0	184	0	0	0	2	0	12
135			ベニマシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
136			ウソ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
137			シメ	0	3	7	0	6	6	9	13	2	21	9
138			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
139		ホオジロ	ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41	66	62	99
140			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
141			キマユホオジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
142			カシラダカ	0	0	22	0	0	9	2	1	5	3	1
143			アオジ	0	0	66	60	128	75	111	114	106	175	160
144			クロジ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
145			シベリアジュリン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
146			オオジュリン	2	49	42	106	167	86	164	54	127	297	190
＊			ホオジロＳＰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総　合　計（羽）				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824	42,110	51,557	55,212	54,091

＊	（参考）※	ワカケホンセイインコ												
＊		ドバト												

No	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
112	5	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1	2	3	0	2	0
113	617	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875	459	630	577	591	461	270	180
114	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
115	90	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42	41	61	34	33	17
116	2	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1	0	0	0	0	0
117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
118	0	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2	3	5	4	5	5
119	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
120	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
121	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	0	1	0
122	1	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0	1	2	0	1	2
123	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
＊	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
125	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
126	15,919	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779	13,013	11,545	9,853	7,697
127	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1
128	591	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467	507	447	494	443	344
129	0	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12	14	7	33	8	1
130	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	16	2
131	13	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65	51	17	18	6	9
132	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	149	0	34	0
133	838	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1,258	1,108	836	757	514	245
134	0	0	0	0	0	0	0	3	0	24	0	0	0	0	0	0	0
135	3	4	0	1	0	0	2	0	0	4	0	9	2	7	0	0	0
136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
137	18	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1	24	10	9	7	24	8
138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
139	38	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43	28	13	23	36	7
140	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
142	3	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4	4	2	0	1	0
143	161	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107	51	48	30	41	18
144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
146	310	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199	197	102	65	54	35
＊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	4
計	50,794	46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776	37,192	38,211	36,847	35,471	32,027	24,596

＊																11	29
＊																	2,594

年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	36	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40

※ワカケホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成30年度から参考として掲載
※ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載
※種名にＳＰとあるものは、種名まで確認できなかったもの
※種名にＨとあるものは交雑種（hybrid）、特定の種の特徴が強く表れているものはその種名の後にＨをつけている

資料10　令和元年度 野鳥モニター活動記録

4月	野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
4月20日（土）	野鳥モニター基礎研修会
5月	野鳥生息調査（1回目）
7月	野鳥生息調査（2回目）
8月21日（水）	野鳥モニター調査報告会（30年度調査分）
9月	野鳥生息調査（3回目）
11月	野鳥生息調査（4回目）
12月7日（土）	野鳥モニター研修会（葛西臨海公園）
1月	野鳥生息調査（5回目）
1月26日（日）	区民向け野鳥観察会
3月	野鳥生息調査（6回目）**中止** ※新型コロナウィルス感染拡大防止のため

観察会

研修会

令和２年10月発行

発　行　　足立区

編　集　　足立区 環境部 環境政策課 環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目１７番１号
電話０３－３８８０－５８６０